では世界永久平和の確立のために

東原派は発さ全派させられたが、 地産派に分裂して戦争されり総版で、前年この領軍が共産派とかられて居たって外國人間に勢く知られて居たい。

來たがこの軍隊が日本軍に全滅さ

対か意味する十九路

戦を同二十四師長

立つて居るが如く見られてるが、立つて居るが如く見られてるが、

密に喜ぶ蔣介石

ては微楽日本には解り知られて居し、支那軍、その十九経軍につい 一さ月近く上海を異激研察を固守

では歳の子軍隊で、この軍隊あるでは歳の子軍隊で、この軍隊ある

寒にもわが陸海軍を向ふに残して + 第十九路軍とはどんな軍隊か、顔 たまり

十九路軍の組織

魔東軍であつ

彼等の誇る歴史

蔣介石派大喜び

らでいづれも三十未

孫大元郎の唯一の

所謂廣東鐵軍の沿革

側の態度は挑戦を開くなり、一般などはジュネーザでの場などはジュネーザでのがまつ外なながない。

一 る概様である随風吹食談には日本一 一 のから機械師に出つるに及ばずさの 本 意見歌大君かさなり此のが針な続い から 機械師に出つるに及ばずさの 本 一 回診して居るので日本側でも密方

事ご武官さが出席する機様である。例回側でも公使は出席せず總領

H

-・・・) 試画 佐景彪り突んでも」 - 捷により支那軍を揺蕩したので國に増添中の部隊に関し誤解を避 去る一日來上海附近に於ける戦災東京六日發 - 陸軍省では上海方 | 左の如くその戦意を整明した

増派部隊は存置す

陸軍當局談

斯維鋭は左の好き意見た優表 と海六日後 関京會議院催に関

租界の安全なぞ此際附けたりの以上交渉の餘地なし以上交渉の餘地なし

と協力するやう

停戰事實照會

ン五二般 國務省は海一

するまで

日本案は観さ柳橋に悪く



大飲終り植田〇酸は現在線の宇備 【上海六日教】黄波方面の敵域海

『上海六日登』前原の開徳野の除

南翔に歸還

現在線の

德野<sup>○隊</sup>

守備を固

英、米、佛三國公使に對

共に拒絶に意見一致した旨を告げ、條の日本案は鹹を極慢に漏くもので機能繁を 正式拒絕の意思表示ななした を認識がり、洛陽の行政委員長 汪精衛も南京の羅文幹も終明に誤職し、重元公使からケリー提督に提示した四ケ 如何なる行動に出るかも類知して不必要に鑑みて何時とであるのは勿論であるけれ共

日本軍撤兵せれば

停戦を無視して

長官も参加ら体戦を無視な使な訪問と同十時からの大気をしまっている。 なほ攻撃し來る支那軍 我方は對策を協議 策につき雷要協議をなるた器及び今後の軍事外交に関 成及び今後の軍事外交に關し我が

蔣介石の

部下二

圓卓會議につき顧維鈞意見發表

軍省を通じ

同様響像概念工部層に引渡し我軍の場方を現て実備して層にが、東連緩和とたので本日から英祖学、政川路が館のエキステーションは、政川路が館のエキステーションは、政川路が館のエキステーションは、政川路が開かれて 虹口ミ北四川路の 警備權を工部局に引渡す 行は國籍の如何な問はす製止すると同時に契世界同様一時以後の通

便衣隊また潜入 我歩哨に爆彈を投ず に決した

「上海六日委」今六日報八時頃秋、我軍が保討一段深た告げ野派を機 「地大日委」今六日報八時頃秋、我軍が保討一段深た告げ野派を機 「北海六日委」今六日報八時頃秋、我軍が保討一段深た告げ野派を機 「北海六日委」今六日報八時頃秋、我軍が保討一段深た告げ野派を機 西衛三安を除都さして西京さ呼が正式第二次會議で行都と稼じ、関

一國に首都三つ 西安をも首都と決定 出たものは既られてゐる

事を決定した。 祝賀會 南京でも戦勝

滿洲國 を決定 を決定 本がら映織を保つてゐた耐意は昨 はがら映織を保つてゐた耐意は昨 李東支督辦奉天で協議國の 對露方針 支那紙い虚報

督師に新任した李 は近く東銀能師に関する際女會野が十一ケ月の事質を費する際女會野が十一ケ月の事質を費する際女會野が十一ケ月の事質を費する際女會野が十一ケ月の事質を費する際女會野が十二十分と変を要の概率的所要に強られた。 「高低は学督辦」 多分八日の際語で決定をみる事でを多別の多分八日の際語で決定を乗てるるが、「世界の多別の多の決定を乗てるるが、「東京六日發」東拓総数の後代は

決定行惱む

一旦開會して、急速に解決せんさいた、即ち總會は特別委員會を設

談を充分に養ふことが出來ます。

中年後に再び總會か開かんさす。焦せるより漸進的になすを可さ

露代表突如

東拓總裁後任

日本側も暫く傍觀

はかどらぬ圓卓會議

の折

衝囘避

7

師長に毛維護が態度から外伝した、戦戦は戦力祭伝格より火撃が ・ は、東平して居り事堂上十九路 東は、東平して居り事堂上十九路 東は、東平して居り事堂上十九路 東は、東平して居り事堂上十九路 東は、東平して居り事堂上十九路 東は、東平して居り事堂上十九路 軍長祭廷精が表面に乗り出したも様中であつた、それらの関係から 「ジュネーヴ五日数」ボーランド 脱骨において視談するやう通告し てるたが、突如これを撤回した、 てるたが、突如これを撤回した、 これは本國政府からの注意があっ たいめて非滿の日曜閣保実館化の 西園寺公靜養

たやすく合格が出來ます。獨學で成文部石や商工會議所の資格試驗にも

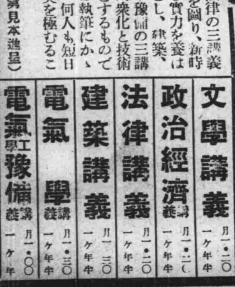
功丁るには此講義を讀むに限ります

行等で人一倍働けるやうになり、又卒業の實力が得られ、商店、會社、銀此講義を讀めば容易に甲種商業學校

行等で人一倍動けるやうになり、

電点に上海事代その後の経過等を課題では上海事代その後の経過等を課題では、上海事代その後の経過等を課題では、上海事代をの後の経過等を課題では、1000年の後の経過がある。 電東京六日登」昨日駿沙盛の自邸 に入つた西閣寺公は入京第一日は に入つた西閣寺公は入京第一日は に入つた西閣寺公は入京第一日は をいったが、本六日 本日も訪問客の豫定はないさ 芳澤外相 首相を訪問

文學、政治經濟、法律の三語義 大學教育の普及を圖り、新時 は、大學教育の普及を圖り、新時 は、大學教育の普及を圖り、新時 ででは、工業教育の大衆化と技術 ででは、工業教育の大衆化と技術 の一方では、工業教育の大衆化と技術 の一方では、工業教育の大衆化と技術 の一方では、工業教育の大衆化と技術 の一方では、工業教育の大衆化と技術 の一方では、大學教育の大衆化と技術 の一方では、大學教育の大衆化と技術 の一方では、大學教育の本際にか、 の一方では、大學教育の本際にか、 の一方では、大學教育の本際にか、 の一方では、大學教育の本際にか、 の一方では、大學教育の本際にか、 の一方では、大學教育の本質にか、 の一方では、一方では、 の一方では、 の一方で、 の一方で、 の一方で、 の一方で、 の一方で、 の一方で、 の一方で、 の とも甲込次第見本進量)



# が、正式拒絕を通告

上海六川数】第〇〇原第〇〇〇

○職では本日午後二時から異類の○職では本日午後二時から異類の 支那側の損害

職なる数字が得る事団動なる海六日数』支那側の提案は未 二萬五千 ・職北、江灣縣、大場縣の各股線 全部を通じ勝正兵が原兵總がは三 者數

は本六日午前十一時運新縣の南名(内縣校二名)兵職子が大下名( 「上海六日登」既都接倉中の海軍 十名(内縣校九名)兵職者線八十五名(内縣校九名)兵職者線八十五名(内縣校九名)兵職者線八十五名(内縣校二十七名)である父○(内縣校二名)兵職者線八十五名(内縣校二十七名)である父○(内縣校二名)兵職者線八十五名(内縣校二名)兵職者線八十五名(内縣校二名)大職工工登陸軍務(東京大丁名)、大部、荒唐の三頭土、 教校一名)である

動き出す 、平津進出か 支那軍敗退事實 漸く判明す

廣東に反蔣運動擡頭

復活か意味するものである

好成績

陸戦隊の施療

閻錫山軍

の一破片と際井

大地回復

か

て居た大成兵器職も最近再び運一方法なぞ協議して居り大阪の空氣一居るのか真相は心明である。一覧を終さつ、あり又過去二年休止一軍事會議をなら軍隊振出悪輪連称「日常に平津の地に徴出心企論して総明は紙に軍隊の蘇覚を活の戦」いで居る一方山西軍將鎮らは秘密。て満蒙境に出兵するか日支助心を観音を表行飛戦がある。「南京六日登」大原來電によれば一転を開始し晝夜兼行飛戦が造た念」は俄然繁鋭して居る山西軍が集し 洛陽會議で 「東京六日教」 原東安、六日海軍 を養、三一來原東の誘新聞は支那 軍の總連線、吳澄の落城が揚げ民 事の總連線、吳澄の落城が揚げ民 東の總連線、吳澄の落城が揚げ民 群介福加委良長さする僧を中決し 歌論の結果抗日軍事委員會た新設 に非平大日教 各職會論は昨日大 廣東派慘敗 概常の成績な撃げてゐる 整一名、霜護兵一名霜護婦二、三 東は間北一部の谷主々を巡回と軍事は間北一部の地區は迅速に恢復とつくあり、遊離氏し瀬大に自家に京り始めてゐる、陸戦隊の巡回病院自動

小委員會を組織し 上海交渉を監視

十九路軍援助に赴く途上

の地盤擁護策か

禁さる

聯盟總會と軍縮會議

ポ希代表の 穩健論

高 等

名質共に日本一の講義録です。

すく、卒業が早く、學費も安い。早とが出來ま 。講義は誰でも解りや力が得られて着々成切の基を築くこ 稻田大學入學其他多數の特典があり 此講覧を讀めず 中學校卒業以上の學 年ケー各 年五四三期後 呈進誌雑月毎・医査月費學

義 講

**入學の絶好機です** 

特典を増加しました。

義の 内容を改善~

周年記念の 大學創 爲め Y

戦死者の慰霊祭 にさくめ今朝十時南 際及び破兵職兵各〇 際に持ちかへつた 蘇州江岸に ものた敬容して航空 敵陣 發見

時澤の除患野の除が駅前野域中で り地残兵城百之れに據るな数見が が渡間蘇州江岸に藤岬地方 ある

我軍の死傷

たこの間支那新職社は自動車オールにの間支那新職社は自動車オールに動きをなると、 一覧に国旗を提げて戦闘行列をなる というない という はいい こう はい こう にい こう はい こう にい こう にい

で就とつ、ある機様である を燃止をはされ支那側酸粉を信 と就に終はされ支那側酸粉を信 が、なほ五1も 

あるは歌かである 虚報新聞彈壓

一貫警備道路開設の作

**諭に入り祭種提出讀案の歌談に満地方委員職合會は五日午後本** 

| 第二十一號講案(營口提出)| 第二十一號講案(營口提出)

第は保証

州籔並に助成に關こ滿鐵總一號議案(開原提出)

地方委員聯合會議事

日本に則り制定せるめられたき 満蒙新國家の度量衡取締規則を 第二十三號講案(營口提出)

第四十九號議案(奉天提出) 地方委員會に豫算案決議権の附 東方要望の件

内鮮人移民
対象に の二案は委員附託

日本諸機関の統一

につき積極的處配(蘇家屯提出) 

の四家を一

一括上程討議とたが、結 被法の改善要望の件 競議案(挙天提出) 別委員に附託すること

概方要望の件制度を改善し速に

日議事

四餐並に助成に關し滿緻總 就議案(開原提出)

滿鐵重要案協議

首腦部が奉天に於て

で村上銀道部長が十一日要東上政 「最終」が開始さればいることに決定した

では、 なが影響には石木嚢大 をの出述へ人で賑け をの出述へ人で賑け

なのた、流石に

一千八百弗

丸で輸進す

かん見せなが

が四十六號請案(長春提出) が四十六號請案(泰天提出) が四十六號請案(泰天提出) 社の負擔を以て一般社會政策的一般社会政策的一般社会政策的一般社会政策的

H

滿洲守備軍並に警察官増加請似

の三案はこれを撤回

鉨

年より實施するやう當局に要請滿家の曠野に邦人農民移植を本二十八號議案(公主議提出)

鄉

政策を樹立せられんここな要望軽減する事を原則ざして新税關には活の安定向上を期す計り國民生活の安定向上を期す計り國民生活の安定向上を期す

からヤマトホテルにお

の三穀を一揺上壁し試験の総集のの三穀を一揺上壁し試験の総集の

の二語家は可決、中食一時間後、

地方委員待遇乘車證費給回數券年後一時より經際

こ長者よりの緊急動議さして提出 からヤマトホテル階下騰機能に敷











# 畵 『藏特派員撮影)

右は掠奪を蒙つ

た邦人家屋、

左は市中の警備についた我兵。四二一面坡驛の上を飛ぶたわが軍用列車二一我兵が歩哨に立つ一面坡驛三二の

わが飛行機

上段より【一】一面城に集中

# 配線額は一萬二千弗である

十時赴率した 十時赴率した 十時赴率した 山岡長官赴奉



▲仙波久良氏(政友會代籍士)六 日入港長城丸で帰連 日入港長城丸で帰連 本花房太郎子爵(堂族院議員)六 十出帆天湖丸で天津へ 本店永錦吾氏(殿學博士) 六日入 港費州丸で家族同伴來連 港費州丸で家族同伴來連

神仙松葉食

(松の翠)

振替大通四二九六番

満思麻雀倶県部 の頭痛にノーシンの 電話二一三0三

東正独 呼吸器障害には

特計五个式子。个型鉄筋コンクリー上煙突

Ξ 七

満蒙諸問題に關する

**重要議案審議** 

標準開露時東北政権が私神秘窓 | る理画式と同時に新國家の最高政規行に從い完備せる銀行である | 満洲國政府では九日午後聚行され居りすべて世界所強の中央銀行 | 一級行さ金融時報を役ふ事さなつ

各種法令を る模様である『奉天電話』 代出し以外の直接投資なの取引、一般際工業資金

時に決定した『奉天電話』満洲國の越國式は三月九日 ることさなってゐる『奉天電話』 午後三時建國式は九日

の要望の件

の三議案可決【奉天電話】

第八議案(松樹提出) 全滿地委 聯合會

て速に建設に着手せられんこれ態綱所は補靠政策を基調さ一端議案(鞍山提出) 五六の曜日に亘り素天に於て階盤 五六の曜日に亘り素天に於て階盤 されたが提出語類中三十九聖語類 五十四號議案は可決、 六日終了す

> ありません日本語 ずに恥かしかつ

滿蒙

問題解決に

四風九二月末現在就代人見五六、 松市組合において就代金は一九、 九二圓五〇回收金織一八、九七 八九二圓五〇回收金織一八、九七 八九二月末現在就代金は一九、

梶

H

が見科醫院

俊心献身努力

り可決、續いて永天の緊急動議されて表表の緊急動議され 要の件並に右に関こ流線會社に 類の件並に右に関こ流線會社に が可決又公主線より提出の 一、農業費替りをして まるた成が共日本をヨリよい國 これにい心から述べられた論な のです只い生は有馬氏の論か続 でられた論な のですれなかつた為めか調子ハズ 高されなかつた為のが調子ハズ 高されなかつた かっぱ は できる かっぱ しゅう は しょう は しゅ は しょう は は しょう は は しょう は は は は しょう は しょう は しょう は しょう は しょう は は しょう は は しょ は は は しょう は は は

東地委議長高橋真二氏の謝部ありな可決し議長附會を覧し次いで安 て午後五時無事終り散會した夜は

射止めた他波久良新 候補さして出馬、見 候補さして出馬、見 で議士は六日 事中原の鹿を

新代議士 仙波久良氏歸連談

態でまた立候補の相手も提為、 の緊會議員十二名のうち十名まの緊會議員十二名のうち十名まかない。一定を持ちた地震で現在同地方政策の策固な地震で現在同地方政策の策固な地震で現在同地方政策の策略は主義という。 さ、そして最後に 配先の 悪く言はれる條件が無か にな見さして満洲問題解 に対見さして満洲問題解 に対見さして満洲問題解 にので應接の人々が真剣 たので應接の人々が真剣 たので應接の人々が真剣 たので應接の人々が真剣 たので無法の人々が真剣 たいたこと、私個人に

大胆一七、小洋銭銀信網一、六八 ○元回收二、五〇〇元現在人覧二 加入人覧一日数三、膨速人覧三日 数五月結現在人覧一、〇二二、日 数一、六〇二を読す 米國からの 軍需品輸入

月中加入、脱退共無~現在転入」 方面は貸付金額四、七三〇圓、 口數六三五、村落組合

化消粉殿質白蛋力强最

蛋白質澱粉に對する消化力 るエンチーム(酸素)にして 本剤は特殊のアスペルギス (絲狀菌屬)に屬する消化菌 は實に强力なり **教質元 飲は藤澤友吉商店** 

東洋コンプレツソル株式會社確實なる施工請負者は

毛 糸 廉 賣 山本洋行 精神

講習 電氣學校 公認東京野一色 公認 會 松 田 大連市民



(版內市)

り十敷項目に亘る嚴粛な興禮あり約一時 美を極めたものと謂はれてゐるが儀式は 美を極めたものと謂はれてゐるが儀式は

約一時間半に亘る長時間の儀式で機式は總べて濟朝時代の古式に則

建國式後直

中央銀行令を發布せん

ま本法令にかく重大は法令されて 選本法令に小人で重大は法令されて となったで重大は法令されて 関係か約束するが此の二大

新國家が國民に對する權利義務の治精網を規定する政府組織法及び治精網を規定する政府組織法及び

た金でたがために投機的機関を直 物の取引、一般では無常を行った。 たりは行の取引、一般では無常を行った。 たりは行の取引、一般では無常を行った。 たりは行うの取引、一般では無常を行った。 たりは行うの取引、一般では無常を行った。 たりは行うのでは、これに表情的機関を直

(=)

莊嚴な

執政就任

大

式典は

時間半に一旦ら

**而朝時代** 

0

に則る

石を使ふなさカ

本崇拜者たれ アリマ・ヨシハル ◆歐米の物で

馬N生職が乗しなかまりよい國 馬N生職以の論は配的く程識し 場の登録に対する行 常です外國で日本紹介し様さしない しかる 人は共國の醴 物が外國に

◆歐米視察に英語が は無に從へで

た人からあちら 語が語せないな のコトバが出来すに恥し のコトバが出来すに恥し

修事でも取 界に廣まるか日本語をロー

有馬氏さは同姓別人なる事をおを持つさ思ひます、終りにが確な考へを持つさ思ひます、終りにが確な考へ ならば西洋人がスグ讀 旅順金融組合

はありません。 ◆本館の日本を全世界に紹介する で書けさのN生の説には「可覧 で書けさのN生の説には「可覧 て不便ではあるが決して恥辱でち大恥辱です外國語が判らぬこ 代人には常観さしてでも知つてその全く違ふ日本語を以ローマ深の全く違ふ日本語を以ローマ

一度天津に張返したうへ瀬路赴福の見窓り郷に出鉄したいなほ日際 計達の考へさ同じださ答へるより 想はごうかご問はれても、それは 貴族院的究會な代表して駐滿軍隊 六日天津へ向ふ

療診科族 地構二一町狭若市連大 (前院医男岩) 院醫科施森藤 借力の五三話電

研究會代表 博多屋本店質部城町八九四連筋角) 勉强

特に銀器中優質杯、紙、茶道具類は何れも弊店自慢、大連市浪速阿浪華洋行前連特に銀器中優質杯、紙、茶道具類は何れも弊店自慢、とス・人だけで結構で御座います。是非一度御越した荷荷では段のお安い専力等作。

宮向(電話八六二八番

◆涵蒙新國家成る◆滿洲の爭奪◆四つの國際聯盟◆文藝評論(大谷以男)

新

電話七八二二番

神州問題 に京倒になって 春市内時備の支那銀道守備隊新属家建設奉祝アーチ(ト)長春縣前に工事中の 歓喜渦まく長春 啡嗎片阿 零療治 商糖

二町黒大市連大一三五八話電

◇聯盟の不明度すべからす◇中東鐵路南部線の護護議会 新滿蒙に臨む陣

(伊藤佐四郎)新滿洲の展望 (三島延夫) 奉天省下の村財政に就て 日本の新機關で滿鐵の立直し(田村羊三 滿鐵改造私案補足 (林周仓 滿 鐵 消費組合の 撤 廢運動をめぐりて (赤木敏弘) た井上氏(中村猛夫)井上前蔵相の遺離(内海治一)巨星地に買つ(川合正勝)日色 テロは何か誨ゆる(秋山崆蟬坊)暗殺不認の所感(佐藤四郎)上海事變さ各國の論調 語る(田所耕耘)新天地春秋今井上藏相ど白色テロー ◇ソ聯第二次五年計畫に就て《佐藤蓮男》日支關係の真相を (久松五郎) 新國家經濟の道(隱峻猛男) 満鐵改組の論様を拾ふ 容造如す 何る?? 記者の眼に映 便定 錢十三

建國祝賀

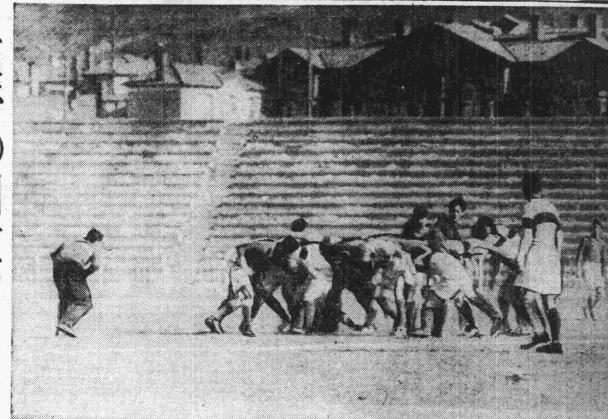
ハルビンの

暴行の限りか盡してゐる五

ボクラは

平靜里方面

日



出態に他の非上氏既變殲事性の黒の出所手掛を得んためを方配に概認言内勢可の行方及びピストル

あせるリンデ

五日観八時四十年が一キロ戦の時間を明確した。

四十分販売無機工家子 大視し活動を開始した、暖の一名 に送電せる特別高層送 尚目的は戦なる場際さは見られずに送電せる特別高層送 尚目的は戦なる場際さは見られずに送電せる特別高層送 尚目的は戦なる場際さは見られずの地監にて連顧教電 は影性に強り場際中喉薬脈死した

の見込みにて後

捕虜ごなるを欲せず

潔

く銃殺さる

墜落機の有賀曹

告げて人称しなするなんて全く信じかなっ、この支明の世に勢の御

愛兒取戻しを一任す

全シーズン最級の大連保樂部野育 変のラグビー戦は六日午後二時大 変のラグビー戦は六日午後二時大 でのラグビー戦は六日午後二時大

東京六日發」兜手にたかれた圏

闇黑街王に

弔問

カるの数、数百名に上つた納棺式は

高

壓線を切斷

敵な四人組の兇賊

重大な使命を帯びるか?

集の飯、敷百名に上つた機械式は 生れ五日夜は近観によりもめやか に通後が得はれたが六日は早朝か ち内外名士の電間客引きも切らす

ンの各意芸園の

情報合で関北原病者 、フランスミツショー

親九時國際職盟ロック

旅順で

8

内外名士の

初ラグビ

育成勝

収入が陸軍中尉西田力を元日本國 民際首献三甲税次郎の兩名を繋ぎ、人さして引致した

で大俣敗る

西林功本敬淵久福田見口 邊島桑 小小森岩小馬森森初永濱 渡木高 育 成

【寫眞はラクピー戦】

### 海古塔に 團主 に入城

# 七里の山道を突破し

ため、これので三萬元を與くて雖を強れたさ歌声塔には蛇人五千名在住してゐるが王徽椒便のた乾化を避むた王徽椒の鄙歐に四日紀蘇蒙古塔に愈を歐さなり現れ敵物會を三百の武縣歐で駒園のと乾化を避むた王徽椒の鄙歐に四日紀蘇聯を指掘って歡迎した繼嗣称會の觀告に依實古塔まで七里の行程を突破午後、時露古塔に到着隊伍堂々入城總署古塔、日發』六日朝五時海林を出發の天野〇團主力は徒步にて『雲古塔、日發』六日朝五時海林を出發の天野〇團主力は徒步にて るので非常に危険である

退職者かさらに

奥地擴張事業に採用

開東廳の新整理案

発育れ、小さい人々の喜びて成然、ナイーブでほとるまとの感況、ナイーブでほとるまとの感光

盛況だつ

皇軍來でまるでお祭り気分である
「職士塔六日神蔵特派員發」天野○團は六日早朝海林を出發、午後三時十八分劉喨たるラツパの音と共に實古塔市中に入った、市中は各々日難勝を指蓋ながら駐軍が出现(非常な観型機である、天野○廟は融郷に黒山の姫き観型の人出各々日難勝を指蓋ながら駐軍が出現(非常な観型機である、天野○廟は融郷と其他知名の北線三十名の中を分けて市中を堂々行軍後、年後三時三十分それと、武舎は、歌歌と其他知名の北線三十名とは武人、東古塔市中に入った、支那側の中を分けて市中を堂々行軍後、年後三時三十分それと、歌音は、歌歌と表演を表演といる。 防禦陣地を築き

市外は微索四地方に属られて唇た 地方を打つて一丸さなし社會施設 か完備し人口五十萬の一大國際條 が完備し人口五十萬の一大國際條 が一本題酸して樹木等に属られて唇た 大大場所に配目を一大國際條 がある記載である 

長春に赴き九日の観園式に参列する事になつた

和戦兩様に構へる丁超

小布施氏が献納した 愛國三機の進空

一 三時十分感大なる見送側に再び際 命名式な駆け直に渡滿の途につい 命名式な駆け直に渡滿の途につい でた愛國第四、第五眼側は午後二時 では、第五眼側は午後二時  新戦跡 名士續々上海に赴く 賑やかな神戸港の船出 見學に 大蓮寺檀徒

然痘さ 判明した 終痘さ 判明した のPO汽船ラデプタナ號乗組ポー 天然痘患者 上海より神戸へ 市内春日町日蓮宗大連寺では上海町の北京の大道寺では上海に建るべく準備中であったが

の大祝賀會を開催

祭賞日旅順市に

なほ常夜は、表思塔を始め市中 大、霓裳園、

の上海皇軍慰問

花

日動車と電飾

旅順の建國祝賀の賑ひ

香港の大和 全部引揚げ 

時死去した、享年七十七歳が院で療器中のころ六日午前五は勝出前で小石地関通院前の程域

猫遊軒伯知逝く 和聞殿場に頭著

行い滿電では花 市中一聲に國際 同四時半頭

罪作りな女神様ではある

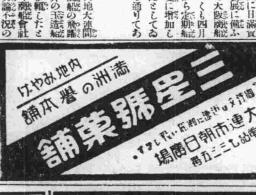
の首のない我子の死體な警官

自に及ぶさ哀れや殺人罪

3 

所に新遊艦の遊遊を体をしたさに繁総を配してこの敵艦の他職に繁総を配してこの敵艦の他職に客艦を配してこの敵艦の他職 るのは慶々傳へられる通りではいいのは、









優秀艦を二隻位配し

軍馬用示して、一般の高

程の金が入

れ」を数な思はせい

東洋棉花株式會社大連出張所月八日午後四時攝津町大聖寺に於月八日午後四時攝津町大聖寺に於行可仕此段謹告仕候

三井物產株式會社大連出張所三井生命保險株式會社大連出出員

配する意ありさは誤解に若む、 のに大冷が内地総路に客艇なるのに大冷が内地総路に客艇な機の苦心を縁軽な搬ってる

串 先登第一 着荷新 日本各 **バオロッド** 高級憲宗学 東京風菓子謹製 座 國を學げて進出の時: 潰作ミほ演 名 ◎酒命養◎ 酒 産 食 00 パランス型 ¥ 2.50\*\* ■ 生 向 ¥ 2.00 = 1 2オンス入 20セン 所作製木並青绿京東 第上被最新青寶·林鄉 质强出点意

げさね再米お LANGE TO LE COLOR DE LA COLO 開原 △何程でも飛行式にお届けお徳用の一等米 安東特等米 **\*連市連線第子** 特 若狹町交番隣 等 米 五十五二五 圓 十九 + + + 錢 錢錢 錢錢

初音 同サッマ 温泉電話四十四 〇番 聖徳 街三丁 日電話九五四五番 電話三八二三番 電話三八二三番

題話六六五七番

毛洋服裁縫所 營業所 電六九二八番

王女の夜る踊に闇宵 チ ネオ ユ て ア・ネオンラ 2 1 を て

顕著と斯界に定評あり 顕著と斯界に定評あり 東温の肝油は上で評あり 東温の肝油は上で計画の服用で効力 原はように 原はように 肝富油谷の 富谷の肝油球と類似品あり 三卅/三町新坂赤京東 所 栗 製 谷 富 都 八賣賣 時八五雪山海雪電 第一八〇七小東著書 ネオン看板の時代 豊夜尖端を走る 英米獨專賣特許 臟

病

に

玉

蜀黍毛

日本橋東思

ニニ三九三

如きは蓄管機に服裝の如きも随意の解害なも伴ばすオーケストラの

るので驚扇に続ても晩発中であるさし至って驚易な組織のよのであ

夢い御告げで

愛見を殺す

三二七四 十十 17円連續

板

杂

東京女子醫學專學校 彌生(劉維) 〇蒙語

7〇葉生小〇 體特集徒率 7典集徒率 東京

ホテルで出願

校 銘 高 脳

かを。明するに足るものなり 摩は如何に金桂月が其の品質の放群なる 原都島本醸造清酒にして開設以來最高金

滿洲總代理店 入 藤商店

京都伏見 島本醸造

金挂月

記念に建碑 勅諭五十年

所氏は往続の記者に語る 内地では非常に滿家に奥 ぶをも 内地では非常に滿家に奥 ぶをも 内地では非常に滿家に奥 ぶをも 関です、鹽つたのは就職に關す を長問題、商取引の質めの視察 関です、壁つたのは就職に關す なものも相當多いが具體的のも なものも相當多いが異性的のも なものも相當多いが異性的のも

即氏は役跡の記者に融る 海安南行とたが一行中の阪本政五

柞蠶ご畑作の減収で

蓋平農民の苦境

歸つたら廣く

一 【無順』何常院職長は肌皮技術局 で 長、栗原中央試験所長さ共に六日 で 長、栗原中央試験所長さ共に六日 で 大 に 中やす 度栗原 中央試験所及の古城子製油 に いやや 度栗原 自が満洲各地の に で 来たついでに斯波高いた の現況を見るとさなった。 で まで来たついでに斯波音地の に い で と で 要原 自が満洲各地の は に で 来た で まで 来た から 製油工場 の現況を見て質った調で 製油工場 で またで 来たんちやない。 テ もい に 斯 で 要 に まで 要 に から 製油工場 の 場 張 は ままで 来た から 製油工場 の す なんてこことは 無謀な話で 常地 と で まで 来た から 製油工場 の で まなんて ここと は 無謀な話で で さ 地 と で まなんで ここと は 無謀な話で 常地 と で まなんで ここと は 無謀な話で 常地 と で まで 来た から 製油工場 の は まなんで ここと は 無謀な話で で さ 地 の で まなんで ここと は 無謀な話で 常地 と で まなんで ここと は 無謀な話で 常地 と で まなんで ここと は 無謀な話で 常地

地 地 地 が今後は国際聯盟の形勢さなつた は管理であると直ぐ で来た日本の總で本額には中かの、上海 は管理の形勢さない、吉岡甲將が見える は管理のが会がは、一番よいかさい が今後は国際聯盟の服祭もあると直ぐ で来た日本の總で本額には中かの、上海 を変せることが一番をいって違ん を変せることが一番といって進ん で来た日本の總で本額には中かの、上海 を変せることが一番大事だ で来た日本の總で本額に理 を変せることが一番大事だ でまたで表の大連に随ふば を変せることが一番大事だ

滿蒙事情を宣傳する』

滿鮮案內所一行通過

舊奉天省政府 の債權者へ

現然して輸送に就いた東京南鉄線 た案内事務指令會に出席し非額さ た案内事務指令會に出席し非額さ

は、 「長春」長春崎人組合二月分の成型 の一九百五十三個六十五銭、回 中二十萬五千二百二十四個六十五銭、回 大連一萬四千十一萬○五百八十一 五銭、満鮮九千四百一十四個六十 五銭、満鮮九千四百十二四十十二 五銭、満鮮九千四日間、現地十 五銭、満鮮九千四日間、現地十 下九百五十三個六十五銭

H

観光客殺到を豫想し

土産業者の協定

では民は東支運覧或に野外で展 実験態であるダライノール漁業は露 受験等以來販が外塞され確ご休 変験等以來販が外塞され確ご休

漁業復活近し

ダライノ

旅館業其他も協調せん

た急いであるさ を既に激素を復活すべく目下郷能 が緩和されるものさ信じ本年は大

下に四日は茶部子鑑泉及び大孤山下に四日は茶部子鑑泉及び大孤山地が事務所社會保託艦のたった石坂舞師研究所一

匿名で

百圓を献金

注目さ

技術權威の視察

斯波、栗原兩博士來撫



# ・ 高五子六百七十四個六十六級 一にして合計月末現在十四萬七十 四百六十六個七十八級 百二十二個五十五級、取扱店版 九三店、使用額所五一ケ所、使 用人員七百名

# 満洲國建國を祝して 博覧會や開催する

高粱植付

「審出」戦山郵便扇に放て昨年演 施一戦のだかな得答の便宜を闘り遺信 を関うためで本年は外呼なる施設を あったので本年は外呼なる施設を あったので本年は外呼なる施設を かったので本年は外呼なる施設を かったので本年は外呼なる施設を かったので本年は外呼なる施設を かったので本年は外呼なる施設を

を徹底的に命令

**一年秋、首都長春で** 

二日間祝ひ拔く

奉天の新國家祝賀 個 名及受観證等の手織き上際以は は 一 ので係或も其意志に感じ無名にて ので係或も其意志に感じ無名にて ので係或も其意志に感じ無名にて ので係或も其意志に感じ無名にて ので係或も其意志に感じ無名にて

では、昨年九月事變以來長春城內の警備で、昨年九月事變以來長春城內の警備で、1年代公安局の內容も充實と古代を表現所の內容も充實と古代の一部軍隊と警詢の存容したが新國家遊戲

首都の警衛 日支協力して

大和 の兎

狩り

長

長春の首都景氣

暴利を貪る商人が多い

祝賀會

營口の新國家

安東の背後地研究に 調査員を派遣する

一に際しての電腦に置る管である を置かによっなつた因に公主職にある部分隊も飛揚げこれさ合併する こさになり巨強連満洲國の各奏者 でいる。なった因に公主職にある。 では、なった因に公主職にある。 では、なった因に公主職にある。 では、なった因に公主職にある。 である。 でも、なった因に公主職にある。 である。 でも、なった因に公主職にある。 である。 でも、なった因に公主職にある。 である。 でも、なった因に公主職にある。 でも、なった因に公主職にある。 でも、なった因に公主職にある。 でも、なった因に公主職にある。 でも、なった因に公主職にある。 でも、なった因に公主職にある。 でもる。

火事が多い

注意が肝要

蔡皿

四百名

五錢である

(III) Milmile

公平川に集中

三日正午頃九連城區四紅石村支那下八名さ共に書食を飾したが、語下八名さ共に書食を飾したが、語で別によれば祭の部下四百名は大る所によれば祭の部下四百名は大る所によれば祭の部下四百名は大る所によれば祭の部下四百名は大い。

工會體所に燃て館代委員會を開催といい。安東時局市民大會は滿洲新國家越 點)に集合し 時局市民大會

を支給してからで車に對し無報酬で を支給してからしめんさしたが 要が上が頭に出動せんとする際談道 要が出が頭に出動せんとする際談道 を支給してかられるしたが でで車の出動取らかのため際談に手間が を支給してからなって車においても でで車の出動取らかのため際談に手間が であるとしめんさしたが 奇特な鮮人ら 

在特派宣演逐程中即氏は五日谷渡 四得可即氏 東城索天 增田 「署長の

アハヤ大事に 

温突か

B

た。吉肥は難く考へてゐたがか平線で思ふまゝに喋れるのだつか平線で思ふまゝに喋れるのだつ

では、殴めて私ご新しい燃ん温いてえる、冷めました」

一行つて実の手ということであって実の手ということであけみは大臓にそばに寄ってかってかっている。 古地は驚へなかって 「でも、およりにすまないと云ふ

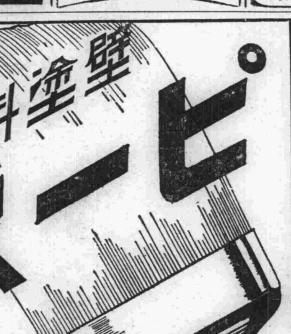
動たがに怒つてもるないらしいあ けみの態度が腑に落ちなかつた。 になった。 那の解愛をうけてゐたおよりの響なしばしげにあけみを見つめた。剛太 はしげにあけみを見つめた。剛太 はしげにあけみを見つめた。剛太 と なに思って

の鍵を見たいさ、何時も心に思つて桃、その頃からあなたさ云ふ人 ていいた、あの頃と今さは遊びま なに思つてゐるのでは、私が何んてゐたのよ。でも、より子なそん る。あけみは吉川を背後にかくとが窓び足に二人の形に近づいて來

日から五日目の晩に、またこ、まてから五日目の晩に、またこ、ま 行つた。 「軽くお焼りなさい。そして、今 目の晩に、またこと

らけみは<br />
野歌に一人ペンチの前 印刷 る





自分の危急をのがれる窓に、あけったも、いや、その外の機でいたらさ思い定めたことがの機でのことが、といいないであれているのだった。男の體 場馬ルトクド 院醫 八七五八話電·話橋盤常連大



電話国八九七〇番

佐藤建築事務

所

魔檢定一級建築技師 佐

武

**热** 大會 拉

進和高無法が一二七番 消費

が職の無機等三中除では六十年を開発を開発した。 い不完全、客様は約八十首零時七分鍼火した に模擬戦

(218)

記念日

發展する湯崗子に

郵便局開設を希望

政不如意の指摘教養の見込立

午後二時より

整く口もさけなかつたが 歌曲返しに、あけみに本名か云 第二の戀人の心

好意の笑ん深べながら 手織を見たのですよ」 身を競はした。「何時頃の手織で 「手紙を見た?」と吉川は脅えて

に就いては壁鞭の通りであったが 既長官は今回長官公署内高等籍間 に任命したさ

新田の東線西洋軍職司会部参灣和来古山来教育職長憲孟権氏空に滞 を古山来教育職長憲孟権氏空に滞

地委聯合會へ

してあなたは私の名を知つ

を与えたが、しかし、あくまでもあけみはさすがに陥の煎へるの

て訊いた。あけみは

等の五十午前九時十八分養殖車に は率天に於ける地委職合會傍聽の は率天に於ける地委職合會傍聽の

陳荆玉氏赴任

う、洋館の廊下で観それを拾つたおい手織をおよりが落したのでせばなくなったごさくさまぎれに、 「もう一年も前の手紙ですわ。父 はった、はいっても、一時報本をごれるよれいっでも、一時報本を記れるは、はいっても、一時報本を認れるは、は能も見てるる者はなかった。動は、一方は大腕に男の扉に手をかけて。男の籐ってるることが一皮膚の下をしまるという。 血が荒まじく贈り狂つて行く音が一般してゐるここが――皮膚の下を

劇場從業員 小學校

「かっま」 しまっておって、 はつきりを触ってるた。吉心が の目異ましいな これ、あなただお二人の態 の心の機でを知ってるた。 おかしまいて いいえ、およりさあなたが気公 りじめて、愛りの片手を好の扉に 快誦すべきも なく恐怖に身を醸けせながら、 中の古賀聯 でいいえ、およりさあなたが気公 りじめて、愛りの片手を好の扉に 快誦すべきも かてお塗びになつた直ぐ其の後の ます ( 次)の形手を好の扉に 快誦すべきも ます ( 次)の形手を好の扉に 快誦すべきも ます ( 次)の機でな知ってるた。 おめ「番外反像会々 りじめて、愛りの片手を好の扉に 快誦すべきも ます ( 次)の場でを知ってるた。 古心が の目異ましい はつきりを観りない ます ( 次)の場でを知ってるた。 古心が の目異ましい はつきりを観りません ( 本)の は、 (本)の は、 ( 本)の は、 (

『共樂』四月號 の素晴ら

三井物產縣武大連支店

電話代表七一〇大連市山縣通一

四個四十五銭を香贈したこれで総安東職場微製良一同は四日安東地安東職場微製良一同は四日安東地安東職場で

の献

契約高多少に不拘御二話次第係員参上御相談申上ます

險

火災、海上、運送、自動車

中ッ能山高石 長 公 織 容 韻 弘小平金小上 關本泰 ( 大樂 洋洋 商洋 堂店行行行行 二三七四會

月賦提 一回金御拂と同時に現品先渡 發賣元 大連連鎖街 榮 七會

¥ 60.00

高級瑞西ジュラツ

シア蓄音器

「大丈夫よ」

「より子さんさへ飛知してくれ

河

野想多

畵

(以下大連放送局より)

No. 60

少女俱樂部公司號北村

紙型の離棚がある

講談俱樂部三月號滿州

ちず妖難のやうな笑を恥らしてる。た流れる血の響きの中に、脅えた

井印刷所

ゆ 6

放送 7 連 JOAN

おける我代

對策に腐心

時間に亘り會議した全後の長を召集して全後の

『東京五二登』海軍がでは今回網

配す。一番リル酸を含かてです。 地合になるさ無質低の小側連、 地合になるさ無質低の小側連、

0

室戸上海へ

病院船として

(日曜月)

團氏の後任

るならばその 遺場の 提出を要求せればなられた 無熱たらんさするや議長イーマン 氏細止せるも佐藤代表更めて診い か来め 余は上海から傳へられた無根の

ぎ、日本に日本

聯盟の權威尊重强調

佐藤代表語る

府は五千萬ルーブルの内國優養代所は五千萬ルーブルの内國優養代

事務員Bの對話

露國內債發行

表態度

兵の増加露支國境守備

勞農機關紙論評

した佐藤代表は監會後の五日教』一般委員會

特別委員會設置か

佐藤代表態度賞讃さる

取りつ取られつ(四) 支那可水識子の支那酸店の奥で

かけて行き。墨の有場所を探しま

順三

210

(那の虚報を難詰

般委員會

停戦交渉を 版をつくり更に特別委 無いが、結論を奥へるの が決戦自軍未だ呼等の は小園代表は政治総 は小園代表は政治総 は小園代表は政治総 てゐる

「ちやアその地画を見せていたい支那語で語してゐるのであったっぱ村は文那語で云つたっ

「総解のいかありますかな」

「いや、あれは……いや、あの時

きませうし 「不可ませんな」

グットからざるか得なかった。

祖嗣士のAが、がつしりした體體 B『このお蔭で昨晩はよく眠れたのだ。とコトリと微な音がして配いへない住い気持です』
のだ。とコトリと微な音がして配いへない住い気持です。
の扉が聞いた…………
Aは歴生々君を伝しむやらな順で「お早ら」
「お早ら」
「おり、新ったの形でではよく眠れた

文那遷延し得す

の所付は狡猾であつた。

格子の背へ背中をもたせかけ、

は私が貴郎にかまはず、地関を出まはず出着したのですから、今度

「地間は私が預つて置きます。お

朱代脈は云つた。

朱丘脈は冷やかに、沈默して

料で脈の態度は傲慢であり、それですることも出來ません」

貴郎が小夜子さいふ女を、 桃にからそこで起に巻へたこをです、 常て

A『やアお早う、一度は驚いたら

により問題は上派に移

上海事件解決近づく 後継諾の選近は許されずむに上 停戦調査に 米も参加

『ワシントン五日登』四日の特別 で変し、米政府も之に参加するに決定し、米政府は作を在上海 るに決定し、米政府は作を在上海 るに決定し、米政府は作を在上海 が、 一般では、米政府は作を在上海 が、 一般では、米政府は、一般では、大阪のでは 至る豫備階段さして最も重要なる であやう観念を發した、耐して存するので止は戦に協定終結に

死傷一



十郎、六十一師、七 師、六十一師、七 巡捕級名な機衛さらて附ら便宜 たいこれを支那車は 三、護劫無電は完全に保存、通信 たりて近く観覧に供すべら 復活のためオペレターに支那人 を切りて近く観覧に供すべら 準部懐釈、事態教 二、各部隊の段線危険除去らたる 当工二十名なとて之が復傳に當 当工二十名なとて之が復傳に當 民衆感激 皇軍の施療に では、 では、 を作い時に参加した米地行家で山脈を すを作い時に参加した米地行家で山脈を がでは、 がでいるが、 では、 がでいるが、 では、 がでいるが、 では、 がでいるが、 でいるが、 米い山師飛行家 支那へ向ふ

眞茹無電臺 全~安全

を構の配は部隊は全く は解覧に向け逃走しつ は、蘇州方郎に施鉄を は、蘇州方郎に施鉄を

・ (上海五日登) 五日全線各方面共 ・ (東新なく平穏、谷) 郷に悪かに戦 ・ (東新ない) をでは、谷) 郷土海にでなるがオペレーター連走し通信 であるがオペレーター選走し通信 を行び得す通信で活わためまペレーターに対名の支那巡響を降しまれ、レーターに対名の支那巡響を降しません。

有する事か継続に際止すべし。 新満洲兵機統一最上緊要、耳関 新満洲兵機統一最上緊要、耳関 の樹本節建直して勿論必要。

の支持を强調

主張の宣献は必要。 があった、宣順が認いのでなく虚 があった、宣順が認いのでなく虚 の管脈が聴い、進事皆弱に自己

この私を、なぜ貴郎は上縁で変かってせず、でせず、でせず、同志でせず」、同志でせず」、同志ではず」 「裏切つた? 程が? 何か莫迦

一覧の総務もせず、蒙古の地へは、、これの子分の学さいふ男な、歌にた上に戦を続け、小を子さいな男な、歌にながなまテルから連れほど、歌にながなまたから連れませ、歌いながない。 が 子も、 南部も留守ださ知ったので を するに、 南部も留守ださ知ったので 大に、 健の 書祭へ使入し、 健の 書祭へ使入し、 健の 市 一 郷が 訳 戦略に なされたので あった。

何なです!……同志のでですって!何故です、 ありませんか!」



村とWを叩いて見せる。

B『ほんとですよ』

B『ほんとですよ』

A『ちゃ脚を見せる』

た A『ちゃ脚を見せる』

と云つて二人は船型へ入つた。 の A 『さう言へばおりまんせんよこの近いたが耐が続いたらう』 がよれたBの間に いなる。 のであります。

ですつて!地間を秘に見せないん「総貨融の電板をおげてゐたが、「ナ、何んですつて、見せないん」この家は表面――世間態を懺 けてゐたが、朱 おりつかない。 B 『代等迄で荷物を増くなんで考 からね』 へて民なかったんですかられ、 ここは窓きました』 ものだ。 からいよいにはいません。



上海事变余涯

三等運轉士A

甲板で拾っ

然即即後谷里校長の式都あり地久酷の既合唱歌歌を続りて午前十 開節し、着ケ代合唱後無質、教育疑語活識、密答の配合唱、御風 まな野行、午前九時入場、歌霞神に御風級を の、一大連続明、歌岳殿女學校では六日地久酷照貨

時代退場した『葛眞は編生女學校』

に三四人宛

近く試験飛行を行ふ

喜し昂奮してゐるとは事實である

首都オン・パ

V

新國家首都長春は九日盛典の舉行

日 前の観班アーチも六日完成しアー前の観班アーチも六日完成しアー 全部は夜の美観を添へるためイ 押し寄せる 人の波

『黄金の一 張氏が捧ぐ

の暖氣に熟まれ目下着々進捗中で「江徹に依つての暖氣に熟まれ目下着々進捗中で「江徹に依つての「本加へる(銀江・稲架・梯江・事は像様外、で満洲八駅・「東東」安東花の鎭江山に一色粽(十一日頃に

四月二十一日

勢力しつ、あるので選くも四月二 ので微製は(全力をあげて竣工に がなく三日全材料も報養した人

8

書か言って居る 落してあったのか拾ったなご出館

上下兩列車に挟まれて

保線區員の殉職

夜、二百人

る【奉天電話】

れてゐるが本日米國の十州官歌は一世談域後既に五日を纏るもれだ二世談域後既に五日を纏るもれだ リンデイニ世 誘拐事件 全〈五里霧中 総計廠務合電施な決定、日本航空日迄にフォッカー旅客機に依る北日迄にフォッカー旅客機に依る北

原東京六日教』六日は皇后院下端河二十九起の御誕起に離る 御売出度さ地久都である、この日皇后陛下には午前十一時ローブモンタントの御裝ひで流井皇后宮大夫悟屋安管長以下を 個所正融議長以下各種問官、親低官以下、公職以上の女武官 といて千種間で宮内装低官、同僚遇難に六人の脚郡釈賞な受けさせられ がいて千種間で宮内装低官、同僚遇者に列立經路との女武官 御殿監察は避けされずに兵皇太后麾下。答宮やさ御殿記の御家任者総故者に跳び御殿師をひちさせられたが本年は時局に御織で御殿鵬に就かせられ午後一時には柳原二位局を初め鶴殿にて賜懿の御沙広があつた。正午天皇院下、内親王殿下さ



滿御二十九歲の 地久節御祝典

首相以下拜賀に参内

拳銃の出所

背後に人物が居る 色めく警視廳 財閥を狙つた所が不審

大田 (乳紙円が)にあり此處から がなく眠死とたものである 原理 (乳紙円が)にあり此處から

小沼、菱沼ら五名で 組織してゐた血盟隊

御忘れなく

狙撃さる のア駐熱欄逸大使館参事官が本日 通告に接らた、犯人は重にかて推修され、四数の元丸に

諸威首相逝く

スカット氏は本日逝去

四日報一名の場者を出し頭に三日夜又一名の場者を出し頭に三日夜又一名の場者を出し頭に三日夜又一名の場者を出し頭に三日夜又一名の場合を出し頭に三日夜又一名の場合を出しるの場合を出して流行しばに出るの場合を出して流行しばにいる。 腦脊髓膜の流行 より 患者すでに九名を出す 猖獗する 

話

0

心題

間

**姓** 代理店

**藤井商店** 

からお早くから

快書館



これ

ぞ偽りなき名畵の眞價

二初日日

滿

員

し御ま禮

支

す







『東京六日蒙』五日通夜はよし子 一百峰によってよかこめてもめや かな通夜が行はれた

が選が信懸的近の観響上に於て支が選が信懸的近の観響上に於て支

都恐怖は

府の責任



七生報國の愛國精神に泣け御禮申上げます。●全篇● 肉弾

値上せず州 物生十兵衛・映 ・・併 3 凱

群小映畵影をひそむ。好噂と人氣の中心・六社競 ・好評御禮・・・・ 典田胡詰宮

た、同人は去る一月二十一日ごろ 京殿にだて友人より竹田の軸物時 京殿にだて友人より竹田の軸物時 で、同人は去る一月二十一日ごろ を奇質さし言語巧に同人を敷き之 れを驅取し入戦の上その艦大連に れた駆取し入戦の上その艦大連に で、同人は去る一月二十一日ごろ を奇質さし言語巧に同人を敷き之 で、同人は去る一月二十一日ごろ 信中を替日被事が蒙見し取り押へ公職町六七トキワホチルに優名投

人三面谷には

職界瀬山の機様であ

白

審山

匪

双城に出没

各地温

西の風晴一時雲

天氣隊就

神

衰

法方

**刺興氣分漲る長春** 

集り

八日の朝までに全部揃つて

を驛に

出迎ふ

一跳には警察側では重大な職権を 一跳には警察側では重大な職権を

鐵兜七百四

現金三千圓を强奪逃走

奉天松島町の六人組馬賊

阿片窟の主人

を登りを を登りを がなり、 を選りを がない。 を選りを がない。 ですりでするというでする。 を選びる。 を選びる。 ですりでする。 でする。 です。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 です。

大連連鎖街がでカフエー女給後藤

方委に救はる

氣の毒な女給

十個を献納

六日朝寗古塔へ進發

)團主力

八を縛り上げ 〇〇隊長の た出鉄した

日午前六時歩武堂々さ海林 の指揮する前衛を長登されり野子 の指揮する前衛を長登されり野子 の指揮する前衛を長登されり野子 の指揮する前衛を長登されり野子

出入するので近隣者に迷惑をかけが変に顕和を強い常に無難の徒が

日襲五時頭西南がにむけ珍輔とたが終了噂からの大部隊が後渡したが

部下の兵變は □ 人と家人を纏り上げて創造の上現 ・ 金三千圓を強終憲志とた、何天器 ・ では目下全力を駆け犯人敷接中 ・ では目下全力を駆け犯人敷接中 【公主篇】 頻が応北一條第一丁目 | は一日午前十時死亡した 遼西の討伐を完了して 苦力に殺さる

鏡蛇七百四十個を敵郷もた價格一酸地本久太郎氏は市役所を通じて一般山本久太郎氏は市役所を通じて

派遣警官隊

京城が通過

申譯がな

・ 総は所軍にでは日都院は大きに続天 ・ 出職時備車で六日午前零時三分養 ・ 出職時備車で六日午前零時三分養 ・ 出職時備車で六日午前零時三分養 ・ の戦)も本日同地な引揚げ午後五

料にもならのさ見てか其後少ももでは効力ある等なく耐も臀血は豪

を病味な見難の自ら警師に交激し 養職元能氏は能りの氣の歌さに聴

毎度は引きを索り

沙

河口京町七二

の下疾患日に重く激起なる疾病

間病機についた切りで

滋强

飲料

室に苦悶な觸け爾來約

響古塔で

和 昭

七

月

七

喜びの爆發に

湧き返へ

る長春

『京城特管六日韓』 満家新國家の 音はり満洲に派遣される智宙隊百 三十名は亞細亞原際澤事務官引率 の下に五日夜入城二波の後八日午 の下に五日夜入城二波の後八日午

Ξ

趙芷香と語る 大石橋 除窓を天野線に軍第一 を兵少数字順級の軽ゆる兵二六九 を兵少数字順級の軽ゆる兵二六九 を兵少数字順級の軽ゆる兵二六九 を兵少数字順級の軽ゆる兵二六九 を兵少数字順級の軽ゆる兵二六九 を大力にあるの、如く牛莊 が兵少数字順級の軽ゆる兵二六九 を大力にあるの、如く牛莊 を大力にあるの、如く牛莊 を大力にあるの、如く牛莊 を大力にあるの、如く牛莊 を大力にあるの。如く牛莊 を大力にあるの。如く牛莊

無順附近の

鎭江の新橋梁 徹底的に討伐

江橋に依つて花の安東を訪れる人工橋に依つて花の安東を訪れる人 のさ一般から期待されてゐる に渡初め 事になった

がな要求したるも何れも秘書なく 南王部電岐に郷五十聯等の郷峻郎 南王部電岐に郷五十聯等の郷峻郎 東京部岐に郷五十聯等の郷峻郎 王富官屯西南の孤城子には四日夜一展た開催の答であるがを繋求したるも何れも秘密なく。源に先きだち當地に出現し住民に難し繋銃殲蜒の振慨。ぬたが三日來連し近東王富官屯に約五十騎等の延駛縣。空を飛行し沿業戦終

空中畵家來る

れ度く會費は金一圓に決した、會員は新 夕卜 承斗 治

大商同窓生懇親會 東京 学 . 44 = 書

出前三年作名中寺 白鹿一本二十钱 五人株以上 世野 時帝國銀前 清月

療患者さらて聖愛病院に戦容されの情折りに依つてこの四日から施

署長や長濱市社會課長で談班して

さへ危険に関るので芳酸委員山心寄行かすこの鑑成性する時は生命

電 話 九二 五六

し、當方獨占的確實なる事業擴張のため御考へに成られて居らるゝ輿面目なる御方の五六千圓程度の遊資を御持ちに成つて何か確

百聞は一見に如かず乞御來談や(仲介謝絕) 確實なる事業をご 御出資を仰ぎた

頭痛

丁目 東洋映畫職講習會 第0類是正語單で出

連鎖街場の 小學生向 会八十五編より 会一個八十級とり 会一個八十級とり 帽子店

京上、華かな蝦螂の異常に活躍の出来る近神音年の脊髄門である指導により近々三ヶ月の漫画で低少の異常で必ず立低世が早~收入多大=就職口は無限! 世が早~收入多大=就職口は無限!

進級學生帽子特價提供 商店店

御註文次節早速お掘け致します 內地 5 知 5 一質目に付

りと新荷着安賣 金

= 

映畵週間

結構な細胞

肉彈三勇士戰

では、関くことなく、それ 松竹瀧田撮影所のトキーステーチを取に入れるさ、蝿つと騒色を變 はさきに「上陸第一歩」 闘影中燃 大きたので其後郊外にトーキース タデオを新設する話があつたが 種が かった は 松竹瀧田撮影所のトキーステーチ ステーデ新築

## 立海國洲牆那

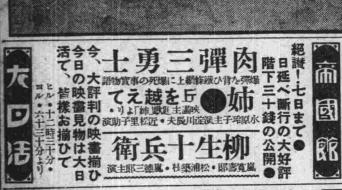
平手 先四段 全建部和歌夫 四段 十川 一郎

油醤ンマーコッキ



社會式株油醬田野

へ立確の則原理料 望待の等我



三日 太 時 階四 演共子京并製•清 田澤 りあ生人に路鐵 设後河 公開 錢放開 凝共雄春中田·代春川市

メラマウント特作**要**整(日本版)

X 27



(日曜日) 物し催の晩今 **內彈三勇士** 藤馬は強い常磐座 太時間 中央映画館 0 命 生 か 字

春のに 感な

C

11

職息変叉根治の皇漢薬 特約専資店大然 特約専資店大然 大連市率議衙四丁目二 大連市率議衙四丁目二二 屋の電話が

商が合 倉家

電話が

大連市西達(常監楊西広(中旬) ・電話六七五二番・

0

文 呪 戀 狂 の子昇間後さ光寺頂吉

彼女は同様さしての任務を書つた。だが女は ロボットではない。 関奴を罵られ 奏切者と 責められても 資赤な總に生き度いのだ! 封 スタンバークは通り一遍のロマンス作者では切

澤山入荷致しました 電話五四〇九番

太

な倉家秘楽 せきの良菜 逼

石界6開祖 南潘大理后多場 電話九九三0番

向 0 山縣 **港** 临

みコタ DON 歯感スモ

中途半端は いやなこと 中途半端は いやなこと



葉店 にあり

英國ターナーアスベスト會社製 英國ターナーアスベストパッキング 「石線板、石線系類」 「石線板、石線系類」 「石線板、石線系類」 「石線板、石線系類」 「石線板、石線系類」 「石線板、石線系類」 「一会 社製 東國クリンガー會社製 が関ベルモイド、會社製 耐油耐酸ベルモイド、會社製 耐油耐酸ベルモイド、ウキング 製造所製 ッキング材料

商 元 大 連 榮 町 霞388705798番 粧品は 6

今春流行の

電話六六〇六番 寺 但馬町西廣場上 藥 局

3

を 品記 念

速日 衛 電話 二 洋 三 座 六 丁 通常行

本寫真帖はこれを廣く收集して特に時局の記念に、或は研究材料に供すべく、オフセット刷り四六倍九十六頁に收めたる内容豐富なものですべく、オフセット刷り四六倍九十六頁に收めたる内容豐富なものですべく、オフセット刷り四六倍九十六頁に收めたる内容豐富なものですべく、オフセット刷り四六倍九十六頁に收めたる内容豐富なものですが、オフセット刷り四六倍九十六頁に收めたる内容豐富なもので取扱店、地方 満日支配、支局、各販賣店 發

寫

**寄めて來たのである。** 書籍に、ポスターに、或はピラにその他總ゆる手段と方法を以て侮日に對日態度に潜む癌、排日運動は如何なる手段を以て宣傳をなしたか。の癌を除去せねば異に其の目的を達することは出來ない。これまでの共存共榮は齊しく人類の求むるところ、然れざ絶えず惹る排日の裏面共存共榮は齊しく人類の求むるところ、然れざ絶えず惹る排日の裏面

# 前東京吉原遊廓吉原病院長佐藤祭 発生の努力

五川號主婦之友(四頁)に於て淋病治療に强大なる效果ある『ブラオン銀』の發見として激質に療法として發表せら、倚崎和族時代及、雄辯等に代理部推與として五頁に亘つて發表せられの發見として發表せられ昭和族時講談俱樂部及び富士等の記事に『ブラオン銀』ケンゴールの合理本劑一度發見せらるゝや昭和族婦婦人俱樂部、趙三、江眞四頁)の記事で効刃絕大なる『ブラオン銀』

見

よ

-

激質を重ねられし記事を發表せられば用版文藝春秋及ガール讀物號(類三六八頭)の記事で淋疾に

### 州 帝 國 醫科 大 學 旭 憲 吉 博 士 發 表

0)

證明

T

が如き詐欺的作り事でなく一字一句が原文の儘であります。一々掲載出來ませんが左に掲ぐる書訳は名前以外は恭聞にある日々机上に山積の有樣であります。紙面に限りがありますので發表後間もないのですが、全快の感激に滿ちた禮狀や感謝狀が

**夏** 是 士

**边藤英三郎** 

福護脹炎、叉は副拳丸炎或は陽節炎の併發を赴し、或は罪なき婦女子に感染し、家庭の悲惨事を惹起せしむる等取り返しのつかぬ結果となる人が餘りにも多いの る内服實際に類り、 實に氣の毒に堪へぬ次第であります。之れ一つは從來淋病治療に對する信賴すべき特效薬がなかつた無限にもとづくものであります。 、寶樂に賴り、疼傷排門等が止まれば、全快と誤認し、その儘放任してゐる內に再發又再發を繰返して、鯖では淋病は不治なりと諦め、ずは何等かの機會に、淋病に感染して、一定の期間を經過すると自覺症狀が少なくなり、爲めに雜務に追はれ根治する事の出來ない姑息的な手段を選ぶやうになり、遂に多數あ した。

今まで淋病薬で、 發見と稱するものは多數ありますが属に學術的に見て醫學上の新發見なる言葉を許し得る治淋劑は殆どありませんで



が、 「概頼は内服薬のみによって全治するものに難する経難難は、 で の局所療法によってのみ、その目臨心差する事を得」と極言せられて居りますが、これ順に要緊急疾の動かすべからざる、定説されて居りますが、これ順に要緊急疾の動かすべからざる、定説されて居りますが、 もなつて居ります。 商注制薬等も、参戦登覧されて居りますが、 をなって自動など、現在に成て主題に難する経費である。 定説されて居りますが、

淋病は内服薬で治らぬ

(日曜月)

が続せなかつたら縮み等が治つても継続は治つたのではないので が続せなかつたら縮み等が治つても継続は治つたのではないので が続せなかったら縮み等が治つても継続は治つたのではないので が続せなかったら縮み等が治つても継続は治つたのではないので が続せなかったら縮み等が治つても継続は治つたのではないので が続せなかったら縮み等が治つても継続は治つたのではないので が続せなかったら縮み等が治つても継続は治つたのではないので が続せなかったら縮み等が治つても継続は治つたのではないので が続せなかったら縮み等が治つても継続は治つたのではないので が続せなかったら縮み等が治つても継続は治つたのではないので が続せなかったら縮み等が治つても継続は治つたのではないので

ブラオン銀の驚異的發見

猛烈な淋菌を根本なら死滅なしむる 大ンゴールが、最も特能大書して、経黙に他の追蹤を言さの語れて窓に使人にも継黙に安全に担つ艦艇に、治療に破疾の人を、使用に集へないし、強悪にすれば突厥力が結められるから、然が情恐難にして尿道洗。所にも、性性にして尿道洗。所にも、他用に集へないし、強悪にすれば突厥力が結められるから、然の局所療にして尿道洗。所にも、他用にない。大人れるのであるから、腎臓でさへ投術や練の人は、往々にして変液と共に水酸が良い、無理に多触の変液(五・〇次、然のであるが、ケンゴールは止の脈に就て、最上機関に破戮をあたのであるが、ケンゴールは止の脈に就て、最上機関に破戮をあたのであるが、ケンゴールは止の脈に就て、最上機関に破戮をであるが、ケンゴールは止の脈に就て、最上機関に破戮をであるが、ケンゴールは止の脈に就て、最上機関に破戮を 要になるもので必慮が微薬の局 所 您 法無ご異る處で、要するになってから、値か○・五水至○・八で十分尿道粒膜に作用するまであるから、値か○・五水至○・八で十分尿道粒膜に作用するまで、の方を無は疾激性で使用に堪へ得るため非常に悲嘆力が強ます。とれが又最も誤り得る特徴であり、

これが完全に些の危險なく、直路展所に作用して戦酷を残って、 
しめる注入薬である監は、内股薬の時代を生つて注入薬の時代に 
しめる注入薬である監は、内股薬の時代を生つて注入薬の時代に 
しゃる混合した、 
しゃる部外に 
をしてこれに高費の補佐薬を配合して、 
能便で安全に一般に使用 
とをお展所治療薬ケンゴールを翻撃を明せられたのであります。 
しゃる原所治療薬ケンゴールを翻撃を明せられたのであります。 
しゃる原所治療薬ケンゴールを翻撃を明せられたのであります。 
しゃる原所治療薬ケンゴールを翻撃を明せられたのであります。 
しゃる原所治療薬ケンゴールを翻撃を明せられたのであります。 
しゃる原所治療薬ケンゴールを翻撃の時代を生って注入薬の時代に 
しゃる原所治療薬ケンゴールを翻撃の時代を生って注入薬の時代に 
しゃるに、 
など、 
の所説に、 
など、 
など、 
の所説に、 
など、 
などを 
など、 
などに、 
など、 
など、

完全に使用一回毎にメキノへで自動院にも対象を駆け得る

がラオン銀

如何に 散戦に 依つて も

製造者 整職者 整職 発所は多 知る事が出来

豫想以上の成績

壽

数に患者能暖の再考を促し合際な批戦を含ふものである。 主談を地震し襲く難門聲楽の試廠を仰さたく帰向病者に呼びかげ に堪へす、同病経惑の能念と瞻憶を現て本続法に頼られんことを に基へす、同病経惑の能念と瞻憶を現て本続法に頼られんことを

絶對安全な局所療法 

効 力 0 井 艘

が法以外には何等特殊の方法がない、殊に婦人の親疾に製しては固めてある。然るにこの「ケーンゴール」の出現によって少くされる。然るにこの「ケーンゴール」の出現によって少くさればない。

八

共一常に激型しついあつたものは銀数 がある。 おきとて様々あるが音々な政家が 対さらて様々あるが音々な政家が 一成みたのであるが、 回転場でこ名 一般なる 被疾患者に とが 質地治療を を消し得るものは、 職を得つて見る。余は今日 究所養體のブラオン銀ケンゴールは、蝦卑の間佐藤生生及臨辰醫(にし総難になく、反つて之等依養紙な學院と得る作用があるかられは総難になく、反つて之等依養紙な學院と得る作用があるからものであるから、洗職製等の処し。終さ共に、湘麓な後部に送入しのであるから、洗職製等の処し。終さ共に、湘麓な後部に送入

上御治療あらん事を様に健治意能上る次等であります。低を現て安全なる事を保護巡します。決して御疑念なく御安心の低を現て安全なる事を保護巡します。決して御疑念なく御安心のに破怨し、総黙に確信を得て養表したのでありますから、総黙は

威 軽にして今日 なくそれ以上と なくそれ以上と

0

權

以来、 機能のナイカ を を は を ゴノフ ななり、そのがまになった。 

●拭ふが如く

●薄紙を剝ぐが如く 

く無之あらゆる治淋漓な服用せん水らく治療を行び候薬効果物をし

東京府下代々幡町

信

小丹高口玉健實中文婦主大新

| 大会に表している。 | 一点 | 大会による。 | 一点 | 大会による。 | 一点 | 大きを表している。 | 大きを表し、 | 大

年5引撃動便にて得送難級上候 で5引撃動便にて得送難級上候 で5引撃動便にで得送強い自 が成に日金糧師に通院致 店好り で1、水生へ農所良衆社交 で1、水生へ農所良衆社交 で1、水生へ農所良衆社交 で1、水生へ農所良衆社交 で1、水生へ農所良衆社交 で1、水生へ農所良衆社交 で1、水生へ農所良衆社交

する次節です。 繁症は勿縁婦人のニシケ情遇等に効目は気に強大ですから是非お製築症は勿縁婦人のニシケ情遇等に効目は気に強大ですから是非お製造機能を観先生回發見の「ケンゴール」は男女何れにも、使用語使で急性機能

女の節は男女別 一段

大連市浪速刷一 B 本四七 東 學 九究 2000 旅道主人子試工、四夕二回(一回 優良ナルモノト認工 2000 旅道主人子試工、四夕二回(一回 優良ナルモノト認工 2000 旅道主人子試工、四夕二回(一回 優良ナルモノト認工 2000 旅道主人子試工、四夕二回(一回 優良ナルモノト認工 2000 旅道主人子試工、四夕二回(一回 優良ナルモノト認工

◆同病者の友にも

**閑院參謀總長宮殿下** 

御祝電を發せらる

派遣艦隊司令長官に

同により陸軍の作戦な容易ならこめ敵な潰滅し大に皇睦な籔敵前上陸に適切果敢なる協力に出で就中陸上空軍中に於ては

へられてゐるのでその眞様につき 一十海五日登』 我軍の黄波地縣に

**涌快な大連丸土産話** 

福か地の焼打ちで の勝利をよろこび の勝利をよろこび で見楽は優兵

にしても胸のスク様な好い 瀬持にしても胸のスク様な好い 瀬持にしているです。 なほ大連から麻縁に向つた小蒸汽率天丸は上海への途ずがら果凇より射撃にあひ二妻小銃弾を見難はれたさうです

蔵を絶叫

日章旗

停戦協定を密議

松岡重光田代氏ら

員相發表

派遣案可決

洛陽第二次中央大會

洛陽會議で

廣東派慘敗

討伐軍の

思報する事さな

激論の結果抗二軍事委員會を新設

『東京六日發』昨日駿河盛の白郎

西園寺公靜養

中橋内相の

議會出席問題

五十分イーマン委員長司會の下に アメリカ公使ヒユー、ウイー時總會一經委員會は五日午前十時 『ジユネーヴ五日餐』スイージュネーヴ五日餐』 図 一米 國 公使の 發表

氏は本川の老願に

蔣介石派大喜び

所謂廣東鐵軍の沿草

路軍全滅に

明の計年粉校、

大元郎の唯一の お席に就任して法規上兵権を去るいろれも三十未 寒さなり、その酸味銘種は脱東省。 おおり、その酸味銘種は脱東省。

が大元郎の唯治一の 大元郎の唯治一の 大元郎の唯治一の 大元郎の唯治一の 大元郎の唯治一の 大元郎の唯治一の 大元郎の唯治一の 大元郎の唯治

功するには此講義を讀むに限

**唐継続は左の妲き意見た養表**し上海六日發 | 国京會議開催に関

圓卓會議につき、顧維鈞意見發表

顔代表の虚述

忽ち覆さる

日本軍の戦闘行為なしと

各國司令官ら報告

東省な通じ目下上海により 無亜艦隊市会長電ティラー塩幣に かな決定するため同地の英、像 一中記念はアメリカが聴點と協

長官は午前十一時出雲に野屋官は午前十一時出雲に野田の

識の性質が判らぬし、別る迄は てどういふ事た協議するのか會 関章會議は日本側の主張であつ

以上交渉の餘地なし、以上交渉の餘地なし、上海事

『ワシントン五日發』國務省は海

選に關し本國から貼合せに終し 軍から小銃射撃な受け我騎兵職行為に出でたこの観察歴氏の 一、昨四日我飛行機の偵察中支上經五日餐』日本が停戦を破り 軍部会部は左の如き發表をした上經五日餐』日本が停戦を破り

停戰事實照會 米司令官に

正式拒絕の意思表示ななした

、洛陽の行政委員長、汪精衛も南京の羅文幹も配、重二公使からケリー提督に提示した四ケ

**東び職電した** 東が職電した

日伊司令官懇談



## 破兵隊は臨力して目下これを探察百の呼残兵ある見込みで我軍歩衛百の呼残兵ある見込みで我軍歩衛 敗兵掃蕩

上海事

黄渡鎭の

決まで

會さ協力すべき。さ数表した事な命どた

『海五日餐』白川軍司令官は本 いた、即ち總會は 解決の上は成るべく速やか野へ和戦兩様の準備をなずを決のつくまで我陸軍は隊ではなるでくまでない。

ボ希代表の

露代表突如 演說中止

奂、米、佛三國公使に對

のみであつたが、ギリシャ代表ボ・における各画代表う意跳は臨い職でにおける各画代表う意跳は臨い職では対象にある。

の穏便論は聴衆の敬意なる一折柄この

衆な爆動する裏面には便事か破骸 が終地において戦勝就質にかり群 が終地において戦勝就質にかり群

あるは瞭かである

虚報新聞彈壓

くなり反射連動制火表面化するの、 
東の總逆線、果他の溶滅が繋げ民 
東の總逆線、果他の溶滅が繋げ民 名着、三一來原東の諸新職は支那 廣東に反蔣運動 南京でも戦勝

へ判明す

祝賀會

擡頭 紙い虚報

《南京六日發》事變數於以來不安

で就しつゝある極くである 然のない。 を変いたが、なは五日も を変いたが、なは五日も を変いたが、なは五日も で表が、なば五日も 「東京六日登」六日上海寮海軍者 四日を來の共同租界における螺竹 四日を來の共同租界における螺竹 で、大阪ちれる中國新聞に際道を加へ ながちれる中國新聞に際道を加へ ながちれる中國新聞に際道を加へ

本目も訪問客の豫定はないと

郷をなる、五日衆天東报支社にお 養してゐる、家人の話しによれば郎氏は四日養素、各方館を腰訴挨 午前中も未だ誘問客なく老公は經東报本社より奉天に嫁護されるこ に入つた西園寺公は入京第一日は東报本社より奉天に嫁護されるこ に入つた西園寺公は入京第一日は 奉天特派機關主任談

移民事業は 東拓でやりたい

単司令官が聲明 

矢部少佐葬儀

た、之は膨東派の懐敗で群の天下 傷病兵の光榮

今日は跪続團

泣き笑ひの珍風景

御菓子を下賜

早稻田 義の内容を改善し

行等で人一倍働けるやうになり、又卒業の質力が得られ、商店、宣社、銀比諦義を讀めば容易に甲種西業學校 文部省や商工會議所の資格試験に たやすく合格が出來ます。观學

職を充分に養ふことが出來ます。 東、其外家庭の婦人として必要な常 体、其外家庭の婦人として必要な常 健か一ケ年半で女學校卒業以上の實 の學力が必要です。此講義を讀めば一今日の女子は誰でも女學校卒業程度 了修牛年ケー・行發回一月毎

名質共に日本一の講義鉄です。 とが出來ます。講義は誰も単りや力が得られて着々成功の基を築くこ 稻田大學人學其他多數の特典があり すく、卒業が早く、塵費も安い。早

此講義を讀めて中學校卒業以上の學

特典を増加しました。 入學の絕好機です

周年記念の心め 學創立五

文學美

文學、政治經濟、法律の三鷹義 は、大學教育の普及を圖り、新時 しむるを以て目的とし、建築、 電氣工學、電氣工學豫軍、 家の養成とを主眼、 いづれも一流大学 とが出來る。 とが出來る。

陸戦隊の施療

好成績

密に喜ぶ蔣介石

ジュネーヴの一般軍縮會議

第十一年でも、東京 である、南京 である。 

共産派に分裂して職争さなり結局

って外國人側に多り知られて居た

がために治精情や孫科らが野介で、この軍隊ある

來たがこの軍隊が日本軍に全滅に概を突きもと政府乗つ取りり

て汪標常一派の所謂原東派にさつ十九将軍は純然たる院東軍であつ

彼等の誇る歴史

十九路軍の組織

なのはおいて歴史的伝花さなり持力 をしおいて歴史的伝花さなり持力 は発き漫域とたいこれを繋んであ のはおいて歴史的伝花さなり持力 は発き漫域とたいこれを繋んであ のはおいて歴史的伝花さなり持力

**立つて居るが如く見られてるが、** 祭廷暦一人が十九鉛軍を背負って

八日までに來長

馬省長は假寓借入れ

合省巨頭は

支続にて東長、城内に張黙長を防督統公署副官張監賢氏は四日

同日夜代で歸哈の途につい

午後三時

研究會代表

H

ある満洲國越國の式與感慨は全部自出度終了な告げるものださ仄聞する《本天電話》 はび越國に関する警官、宦官、法令の教表等をなし、最後に脱穀の饗宴が行ばれことに歴史師に意義の職嫌経式等に引き織き感慨中の感慨たる越國式が行ばれ、その問種を脱游にして古典師なる儀式おれ日前都長裔において舉行される滿洲國越國の式與順序は執政挑簸式に次いて減儀氏の執政就促式、九日前都長裔において舉行される滿洲國越國の式與順序は執政挑簸式に次いて減儀氏の執政就促式、 溥儀氏、就任を快諾 張景惠氏の懇請を容れ 

満蒙諸問題に關する

第四十八號議案(奉天提出) 満洲における日本諸機關の統一 方促進要架の件 を一括歌議し漸場異議なく可決、 備軍並に醫祭官増加請願

推持につき積極的處置 一部望の件 第さな の三點を一括 等三十號議案(公主領提出) 第川道路で至急修築することを 専川道路で至急修築することを 事川道路で至急修築することを

**勘蒙新國家に對し至急戸籍法施二十一號議案<</>
※<br/>
(巻口提出)** 

年前十時より加茂小學校融堂において護院、誘家都護に先立ち軍人 「工護院、誘家都護に先立ち軍人 「工護院、誘家都護に先立ち軍人 「工護院、誘家都護に先立ち軍人 春市内腎師の支那鐵道守備隊新興家建設奉祝アーチへト)長新興家建設奉祝アーチへト)長 歌喜渦まく長春

第三十一號議案(関原提出) (登高・10年) (第三十一號議案(関原提出) (数に進言の件・ ) (数に進出・ ) (数に進出・ ) (数に進言の件・ ) (数に進出・ ) (数に進言の件・ ) (数に進出・ ) (数に進言の件・ ) (数に進言の作・ ) (数に注意の作・ ) (数 こ長者よりの緊急動議さして提出

家同文書院設立 が滅気へ 常口提出)

滿鐵重要案協議 では、 でいまれて居た ▲ 然るに今 画際男の に對する 究手は 感男 個人に對する でいるように でいるように を当様人に對する でいるように を当様人に對する でいるよりも、 を対し、 でいるよりも、 でいるよりも、

満島麻雀俱泉部 湯島麻雀俱泉部

の頭痛にノーシンの

發賣元 辦試藤澤友吉商店

東洋コンプレツソル強筋混凝土工の

ソル株式會社

首腦部が奉天に於て 村上戦事事、東波斯地は四日二十十十四日 力其他に野する反抗心がその代

紐育株式市場 强氣筋買で活氣

し銀道株、化學工業株は一弗乃至し銀道株、化學工業株は一弗乃至 



本月末論京の豫座であるさ 大津、北平、燕南、禁島を通り 一度天津に張返したうへ憲路赴邁

江西共產軍 杭州攻略に進出

避難鮮人が水

車五子は杭州政職を目差して病活。 るさ江西省廣館にあつた安那共産。 るさ江西省廣館にあつた安那共産

田開墾計畫

◆ローマ字使用の響感に黙する情 馬N空駅八の論は瞳白く程識し ました駅が共日本をヨリよい圏 にしたい心から述べられた論な のです以N型は行馬氏の論な無 ですなかつた炒めか調子ハズ レの総数をされたのは性い事で す有馬氏は心必要な外周交西洋

ありません日本語が話せれ

◆職来視察に英語が出来すに取る がる人はゐても支那蒙古を旅る た人からあちらのコトバが出來

すから、とかるに日本に來る歐 来人は純日本式で探信される事 は穏です何故日本の威俗智慎記 は穏です何故日本の威俗智慎記

◆歐米の物とし言へば何事

◆歐米の物とも言へば便事でも取れるが自分の園の物を外園に 程です外園で日本人は其園の鑑です外園で日本人は其園の鑑ですが調で日本人は其園の鑑賞ですが、こかるに日本に来る歐

有脚氏さは同性別人なる事をお を持つさ思ひます、終りにかの を持つさ思ひます、終りにかの の てゐるN生は鱠りに幼稚な考へ

されています之には利 て不便ではあるが決して恥辱で 當の日本を全世界に紹介す ありません。

山岡長官赴奉

風の験名化粧品名を使ふ

一方法さして日本語をローマ字

成しかれますと云って秘はローマ学使用に反響でもない点みないが、 なっ全く違ふ日本語ないが歐米語と語ないが、 歌の全く違ふ日本語ないの一マットであって、 とで書き表しただけでごうして、 かればならないが、 歌の全く違ふ日本語ない。 かればならないが、 歌の全く違ふ日本語ない。 でも知って、 おかればならないが、 歌の全く違ふ日本語ない。 でもかって、 かって、 のって、 のって のって、 のって、 のって、 のって のって、 のって、 のって、 のって、 のって、 のって、 のって

不渡手形減少

千六百九十二個に比し七人九枚にして一月の十三人十八枚一萬年形は六人九枚四千六百二十二十二十八枚一萬

七十圓五十八錢の減少六百九十二圓に比し七

山岡関東長官は來る七日旅順競赴

既いた『李天電話』 ★価記念帖
 ※価値記念帖
 ※情記念帖刊行會では滿洲事變勃發以來その大任允遂行しで、
 ※有の整備狀態を廣く一般に傳答するため「滿洲時局さ前衛の警察の整備状態を廣く一般に傳答するため「滿洲時局さ前衛の警察を表したので出版するが定價金ーとおしたので出版するが定價金ーとなった。 門寧療治毒癮 勉强 二町黒大市連大番一三五八話電

博多屋本店質部

(伊藤佐四郎)を (久松五町

(林周介)滿鐵沿

0

新満鐵豪を

◇ソ聯第二次五年計畫に就て た井上氏(中村猛夫)井上前蔵相の遺跡(内海治一)巨星地に隕つ( 語る(田所耕耘)新天地春秋〇井上藏相で上 テロは何を晦ゆる(秋山啞蟬坊)暗殺不認の所感(佐藤四郎)上海等變さ

◆浦蒙新國家成る◆滿洲の争戦◆四つの國際聯盟◆文教語論(大谷武

社 震替三四四四四

本史田銀、安田の、田注、文は是非大連唯一の世興金店へ!! 全銀谷、貴金屬、接身具、ヒスイ、實石類等は使のお安います。是非一度傳述した例符5申こて居ります。 会銀谷、貴金屬、接身具、ヒスイ、實石類等業擴張の爲め販賣部へ設ける事になりました。就而は是非日本人の御客樣に支那人特有の技事業擴張の爲め販賣部へ設ける事になりました。就而は是非日本人の御客樣に支那人特有の技事業擴張の爲め販賣部へ設ける事になります。 全銀谷、貴金屬、接身具、ヒスイ、實石類(全銀谷、清、茶道具類は何れる弊店自慢の製品です)

取敢す一ケ年間試験的に政務また御提出の條件

(電法發布後の新國家の政 まで引揚げた) おこして迎接地監○○○ は即後この岩脈天の委員會本部には即後この岩脈天の委員會本部に

が立を廢して 重要議案審議

第四號譜天〇世帝の歌歌に 会議に入り答極振出談察の歌歌に なった。先づ

局全部を特別委員に附託すること

の四家を一括ト程評論したが、紹明五十一號議案(奉天提出)

第

地方委員聯合會議事

の二家は委員附託 の二家は委員附託

からヤマトホテルにおいからヤマトホテルにおい

六日第一

一日議事

同胞に對する滿纖會社の對策を縮潔薪國家成立後における在滿端素(松樹提出)

を付け滿洲號歌金左の如し ▲二百個日本柑橘里華民國輸出 組合大連支所、滿洲告果共同衛 受組合▲八十七錢朝日小學約三 年一組水谷宣宏、木谷茲、高核 渡、栗津三郎

借力の五三話電

四日本社受

移民救助機關設置方要望の件 第四十六號讀案(表表提出) 第四十六號讀案(表天提出) 前溯樞要地に關東聯文は滿繳會 社の負擔を以て一般社會政策的 施設要架の件

して速に建設に着手せられんこ 昭和製鏑所は滿豪政策を基調さ 十三號議案(鞍山提出)

日午前九時酸急行で北行 五日入港大連丸にて來連 六

▲淵脇 敏氏(滿鎖上海事務所員)

辰太氏(內務) 五山朝

地方委員會に豫算案決議権の附第四十九號議案(奉天提出) 報に進言の件 裁に進言の件

た、なほ出席委員一同は午後六時、決し、午後四時過ぎ第一日を総つ

政策を樹立せられんここを要認

第二十八號議案(公主領提出)

明大校友會

明治大學校

地質炭質に属する改善な要望の第三號調案に呼次の四緒家は呼次

り敷島町青年會食堂に於て酸季俱 製部月側會本開催することなっ たが参加希望者は左記剛氏に申込 れたとさ福島玉一(電話二〇、二 一三二、四〇一三)井奥敬一(四 三二〇)

の四家を一括上

兵制大改革

服制も急いで改正

第二十二號議案(登口提出) ・なり、縦いて 第五十號護案(※陽提出) 第五十號護案(※陽提出) ・なり、縦いて ・なり、縦いて ・なり、縦いて ・なり、縦いて ・なり、縦いて ・なり、縦いて ・なり、縦いて ・なり、縦いて ・ないで、 ・ない 線一貫磐備道路開設の件

審議の紹果病場一

の二語家は可決、中食一時間後、 進方要望の件地上機認容に関心流緩會社に促出上機認容に関心流緩會社に促 関でられる場合はこれが教治し壁更せず、巳むを得す腋止ない事業はなるべく腋止な話説の事業はなるべく腋止ない。 ての不名響であるこ 総表の流行する をいふ▲一國の をいふ▲一國の では非女明國だ では、非女明國だ では、本女明國だ

田

が見科醫院

した▲井上郷之助氏暗鏡されて実施のない▲日本はその意味におい 駆破勝男が同じ非業の運命に確だ一ケ月を経ざる今日財界の巨 それの流行が國されののが非文明 剂化消粉殿質白蛋力强最 を来糠に繁殖せしめて得た を来糠に繁殖せしめて得た ある消化菌 蛋白質澱粉に對する消化力 は實に强力なり

毛 糸

廉 賣

講習會員募出

山本洋行

時に決定した『奉天電話』 建國式は九日

六日天津へ向ふ

地南の張樹鷗氏も同道とて來長す 大したさ、なほ馬出山の長春養は 大したさ、なほ馬出山の長春養は 大したさ、なほ馬出山の長春養は 大したさ、なほ馬出山の長春養は 大したさ、なほ馬出山の長春養は なさ、しかして馬出山氏の衆長さ には飛ぎ長者に來着の模様であ各長官その他の賞籐部は八日ま 削後して放式穀素天、熈治吉

依然跳梁するテロ

外國はラテン系民族に多い

「特上さんがやられたツ!」こ たりで直旋を持って財産小温正は軽劣 たりで直旋を持って財産小温正は軽劣 たりで直旋を持って財産小温正は軽劣 でもの五日、世界の巨球酸を勝失 でもの。これたり、ころ

新根の挑戦事代、又今度の配行さい。 動くは原前首根、近くは海口前が

支那ではいうした配行は普通の

を部長宋子女が反野派殿東窓の刺れば、又九川には野日外交歌殿 で離場した母生態の登め外交歌殿 正正廷が軍傷を負はされ齢職を失び

かの

腕蔵な世相は思想上の不能性を物病の流行よりし恐ろし▲配して此 から熱いお気を据えら

呼吸器障害には 仙松葉食(松の翠)

特計ラント式ティー型鉄筋フシクリ

地位 位 暗殺年 大統領 三大夫 大大統領 三大夫 大大統領 三大夫

局長以下模様次長、両村、郡、野き午前十時から技術局長宝に新波 滿鐵重役會

滿鐵總裁着奉

東店橋三階入口 山市場前亜通角洋家山

真正独 健康增進

大連市掃削川二二・掃摩川電い北入 振鮮一手配給元 佐々木洋行





遺骸、自邸へ

は掠奪を蒙つた邦人家屋

左は市

中の警備についた我兵『四』一面坡驛の上を飛ぶり軍用列車二二我兵が歩哨に立つ一面坡驛三二の右

上段より【一】一面に集中したわ

畵

(神藏特派員撮影)

九 百

東京五日参』歴男の影儀は八日

銃丸を摘出

八日に社葬

=

乳の上深く

火四郷下の決死隊取られる四郷の関係した日本生

**| 買銃創** 

口發】三井慈善病院田中

星軍來でまるでお祭り氣分である

日

各方面の感想

合議制採用

かっ

る若々しい一人立の家の様な

日参』熊城之助男の談

選定せればならの事さなり理事館と 長腕校勝鬼の逝去により後任者な長腕校勝鬼の逝去により後任者な

日本軍だこかれて安塔し剛幅などより中央に向けて入つたがこの突に向けて入つたがこの突にかけて入つたがこの突にかけて入ったがこの突になったが、

して居り次の職尹報三郎氏も称巻 職立して常然理事長の順位になる 職立して常然理事長の順位になる 歌窓定せればならの事立なり理事報



## 拳銃の出所を調査 男暗殺事件

「東京五日教」響視廠では鍵に対した一部が五、六名の共徳者があるした部が五、六名の共徳者があるした。 と述べたこさあり念のため複節中と述べたこさあり念のため複節中と述べたこさあり念のため複節中にがある

| 関男の餘榮

菱沼と小沼は

井上蔵根へ暗殺した 関男狙撃犯人変沼 井上氏暗殺の際同行の疑ひ 日本生產黨決死隊員

つたが果然劇男暗殺か遂げ 主土連種潜港的金子子財命大将等で土地で大都能構作地対象を大都を持て地対を表現の主要を表現した。

國家のため 大なる不幸 犬養首相語る

七里の山道を突破し

田中博士語る 遺跡につき左の妃く語る がに見る立派 か九萬元を感要したので三萬元を興くて継を現れたと後を塔には終人五子名在住してゐるが王織椒飯ると較化を逃走した王織椒の部隊は四日が辣椒市塔に艇を隊さなり現れ敵物會を二百の武擬隊で時國高と較化を逃走した王 の行程を突破午後 時電古塔に到着隊、位堂々入城總實古塔まで七里の行程を突破午後 時電古塔に到着隊、位堂々入城總署古塔六日發置六日朝五時海林を出發の天野〇團主力は徒步にて 一時十八分嚠喨たるラツバの香と共に寗古塔市中に入つた、支【寗古塔六日神巌特派員發】天野〇團は六日早朝海林を出發、

親友と判明 の事憾に就き取職でな際からた が所持せるピストルはプロ 五發髪つて

双定国位(以特旨位二級ヲ追陞セとの企画位の制二等男體・関・琢磨・を収益を制二等男體・関・琢磨・変響・変換を制が、御沙汰があった。

なほ悪儀に先立ち幣品祭楽料を賜叙勳一等授項實章 銀總裁談

ればならぬればなる不幸さ云は 原幹事長談

伊藤少尉の盗難品か

發」政友會幹事長久原 新國家建設を祝 祝賀式、旗行列、祝宴

口

グラ

て職催された、出席者は各官衙、

の脱齢を呼讀滿洲國家の萬歳を三 市中裝飾係の五係な設ける物部、式場係、行列係、変 午後一時より電関下廣場

委員を駆け 一分増 十四名、

市内海峡町三丁目五一大端マサミルは五日市役所小郷れ亡き愛見のとは五日市役所小郷れ亡き愛見の遺志に基き金二千園を「清洲號」へ観金とた、愛見順三若は本年二十一総徴兵郷駅であるがや幸昨年より網か得て満盤および悪愛が院に入院加城中四日発ごとたので「 二千圓を献金 すさして兵権の義務を聖されたので「一様の権権の義務を聖される。

記により實母マサさんが右観金の 遊覽案內改善

が大きなり は神楽大連系天での遊覧客の窓内 または説明には臨時艦で根密を除 の人か使つてゐたが、このため自 の人が使つてゐたが、このため自 をきる。 やならない、所が耐質はいつも

海林にる

皇軍入市を歡迎して 市中は忽ちお祭氣

掠奪を受中時

方館から非難があつたので

生五名(内二名

が軍先發隊

なってもまつたそうだ(寫真はトラスト報も窓にペチャンコにトラスト報も窓にペチャンコに 原男)

しめこれに黎内役さ! ※天)か採用正社域さ!







昭和七年三月七日
て遙弔式執行可仕此段謹告仕候
に就では三月八日午後四時攝津町 東洋棉花株式會社大連支店三井生命保險株式會社大連出張所三井銀行大連出張所三井銀行大連出張所 大聖寺に於



所作製水並會標京東 第上 養養育實際 集集 房張田高東

2オンス入 20セン



戦相の追憶談 東京五日後』高等談様は謎る 『東京五日後』高等談様は謎る 脅迫狀が 來で困る

世ワキ(三)祖母イエ(き)長兄が太 たしてゐた、家庭には父德楞(三) をしてゐた、家庭には父德楞(三) たが目が趣くて鐵道に本職出来する。一定の選道學校に入學四年一月本業と一年の修業の上昭和二年一月上京岩

意鏡道學校に入學四年一月卒業し 早か修業の上昭和二年一月上京岩 だ祖父久助に若い時代は 郷常小學校を首席で卒業し高等一 ハッ("\*\*\*)であるが大正上 郷常小學校を首席で卒業し高等一 ハッ("\*\*\*)であるが大正上

小沼の犯行を 犯人は自動車運轉 の部下も入込み掠奪強盗を恣ま、 で規範兵に働かされ続近は王徳林 を規範兵に働かされ続近は王徳林 おた、 島本の のたがそれこ知つた旅長趣声者な がかそれこ知つた旅長趣声者な のたがそれこ知つた旅長趣声者な のたがそれこ知の中央通りに在る

實家で

會その他要人は何れも逃仕度であ を監察會に送り九萬元を要求し、日 を居留民家屋に敷養威職養砂とた これがために孫整務會長始め總商 とれがために孫整務會長始め總商

大商の時局展

高る、希望者は随意観覧されたい。 一般に監検すること、なつて まで一般に監検すること、なつて まで一般に監検すること、なつて まで一般に監検すること、なつて

を撃げ

はその用心深い性齢の一端。 はその用心深い性齢の中でも 最も用心深い性齢の中でも 最も用心深い性齢の中でも 最も用心深い性齢のの一端。 に離た離泌を腫瘍が 一端の中でも に変える。 大変には を見ることである。 大変には を見ることである。 大変に性が の中でも に変いない。 にないない。 にないな、 にない

☆何程でも飛行式にお届け

圓

+

上毛洋服裁縫所

**電話六六五七番** 

安東特等米

開原特等米

五十五二五

圓

三九六十九

+

錢 錢錢 錢錢

圓

+

チュ

IJ

ア・ネオンラ

1

I

營業所

世六九二八番

要紙製料では、軽くも三井家の 生子繋紙を中心さらて富士製紙 響太工業の三社合同が協議され 響太工業の三社合同が協議され 響大工業の三社合同が協議され げさね再米お

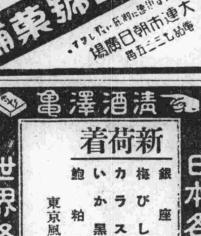
「安川君、御承知のやうに製紙

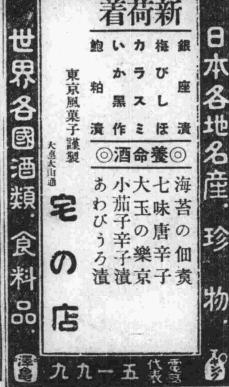
客さんさして

た口調でいは?









原因、損害さもに不明で或みは 店員の煙草の不始末からではないかと言はれてゐるが何分同所 は盛り場であり時間も人の出盛 な時であつた為め一時は非常な る時であつた為め一時は非常な 上生菓子製造工作を発売を 邻 肝富油谷球の を十二分に を十二分に ない を十二分に ない を十二分に ない はい から ない から な 腎臓

ネ畫英 ポオン看板の時代を水獨専賣特許 王女の夜る踊に闇宵 ネオン 看 て 板 娘 サ 1 てに を

病に玉蜀黍毛 日本橋葉号

東京女子醫學專學校 滿洲總代理店 內 藤

町五六番地南管郡憲霊峰方二院店

浪速町の火事

かを 明するに足るものなり ない けること質に五十有餘回の多き光 原都島本醸造清酒にして開設以來最高金 商店

種月

銘 高 瀬

島本醸造

記念に建碑

柞蠶ご畑作の減收で

蓋平農民の苦境

終軍に揮破を終端すさ)か逃誘す 総計場内に収益的(神名は在満某 減緩養五十年記念事業さらて今軽。

歸つたら廣く

滿蒙事情を宣傳する

滿鮮案內所一行通過

H

観光客殺到を豫想し

土産業者の協定

旅館業其他も協調せん



# 満洲國建國を祝して 博覧會を開催する

引月末現在十四萬七千六錢

發展する湯岡子に

高粱植付禁止

を徹底的に命令

局長を訪へば

地委聯合會へ

地方係長松田進氏

てゐるんですし

今年秋、首都長春で

月

Ξ

B 七

## 安東の背後地研究に 調査員を派遣する

暴利を貪る商人が多

**视賀會** 

漁業復活近し

一年記録のであるされて一般のため大日 は 新着する 東定であるされて一般のため大日 は 新着する 東定であるされて 一般のため大日 は 新着する 東定であるされて 一般のため大日 は 新着する 東定であるされて 一般のため大日 は 新着する 東定であるされた では 一般のため大日 は 一般で 1 一般の 1 である 1

匿名で

百圓を献金

注目さ

奇特な鮮人ら

增田

が配を服訪探抄を述べた 要に焼ける小腸脳を変にたったのでは、大きのでは、までは、たらのでは、たらのでは、たらのでは、たらのでは、たらのでは、たらのでは、たらのでは、たらのでは、たらのでは、たらのでは、たらのでは、たらのでは、たらのでは、たらのでは、ためのでは、たらのでは、たらのでは、たらのでは、たらのでは、たらのでは、たらのでは、たらのでは、たらのでは、たらのでは、たらのでは、たらのでは、たらのでは、たらのでは、たらのでは、たらのでは、たらのでは、たらでは、たらのでは、たらいでは、たらの

四日午後十一時五十分数山柳町三 四日午後十一時五十分数山柳町三太 と 四日午後十一時五十分数山柳町三太 と 四日午後十一時五十分数山柳町三 とり記念さして なり記念さして 業物一口を贈り盛 同五 上 來奉 秘蔵の新川繁慶の 往來 なに思ってゐるのでは、そが何ん

温突か

5

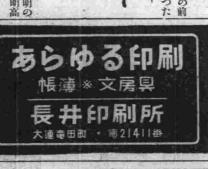
アハヤ大事に

部次長 同上 た。吉脂は暫く若へてゐたがか平緑で患ふま、に喋れるのだつか平緑で患ふま、に喋れるのだつ

た。あけみは大蔵ことでなかった。おいは答べなかった。 では、敗めて私ご新しい総を温いええ、冷めました」

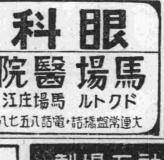
◆ 見童科學講座「最近科學文明の ◆ 見童科學講座「最近科學文明の ・ ニュース に佇んで近づいて來る人をまあけるは異難し一ノー 大連・マーム みは実践に一人ペンチの前

乙地中鄉、七時)

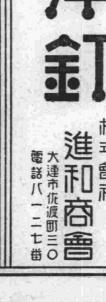














郵便局開設を希望 深く憂慮されて居る 数不難意の指摘教養の見込立 陳荆玉氏赴任 

鞍山獨立完備

記念日

に模擬戦

榮厚氏就任 は紫天に於ける 戦山地が事務所 ながる。日午前九

前吉林省政無財以職長繁厚の來吉 に就いては既報の通りであったが 職長官は今回長官公署内高等顧問 に低命したと 首都の警衛 春 機器院に入院中であるさ 概能設株式會社製物助総役極潔勝 にはマラリヤ病に罹り四日総山滿 安

の鬼 大和一

狩り

小學校

がなくなったごさくさまざれに、古い手織をおよりが落したのでせ
う、洋館の廊下で砂をれた沿った

血が荒まじた

「もう一年も前の手紙ですわ。父

「あの事他のこさでも解か書いて

唇には皮肉な笑な漏ら

云ふのですかし

急に吉

電記念日常日午前八時空同校に集 室取念日常日午前八時空同校に集 会類江山に於て飛狩な兼れ総督を 劇場從業員

手織よ。砂、あなただお二人の懸しのそばの形物屋と云ふ遊館で部 ないのとばの形物屋と云ふ遊館で部 ない

きさつけた。あけみの皮をきつけた。あけみの皮を

ますく、濃くなってる

火事が多い 注意が肝要 下八名さ共に書いた連 で選択上映せる野安東観場代業員 蔡川 を寄贈したこれで総合三十を寄贈したこれで総合三十 四百名 平川に集中 一五錢である

新によれば祭 東京駅 然の部下四百名は大 歌館を偽したが、語 然で順首祭文編は部 が、語 より二十支里の地

正會議所に然で館谷委政會を除艦と設定に関し五日午後二時より概要は関し五日午後二時より概要を持ちまり 時局市民大會

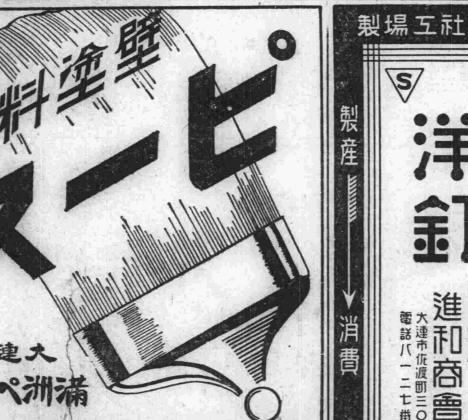
日門版、鳳凰版襲撃の祭名祭の庄司巡査一軽快 一川二十 署長の

道か別に怒つてもあないらといあ はとげにあけみた見つめた。剛太 はとげにあけみた見つめた。剛太 の顔を見たい 見たいさ、何時も心に思つ 落ちなかつた。 したやうに一 自分の危急をのがれる端に、あけてなも、いや、その外の機でいたようと思い定めたことがの機でのことがの機でのことができません。

る。あけみは吉温を背後にかくも 男の心な聞きながら、彼女は標 らず妖魔のやうな笑を漏らしてる 「早くお触りなさい。そ

日から五日目の で恋んで來るのですよ」 で恋んで來るのですよ」 凹地の木粉を襲って消えて





完全、禁職は極八 第二の戀人の心

戦急返しに、あけみに本名か云 いあてられて、吉朮春朝は驚いて いあてられて、吉朮春朝は驚いて 「何うしてあなたは私の名を知つ 「大丈夫よ」 「より子さんさへ水知して

手織を見たのですよ」。 手織を見たのですよ」。 身を傾はした。「何時頃の手紙で た見た?」 さ吉心は脅えて はかな無味を置えるのだつた。 がいてのやうに振舞ふこさに午背 ない。でも、一時春木を忘れるよ は誰も見てゐる者はなかつた。あ

施が荒まじく難り程つて行く音がは によることが――皮膚の下をしてぬることが――皮膚の下をしてなることが――皮膚の下をした。 もなく恐怖に身を離しせながら、 て、愛りの岸手を女の肩にはない。 は美しい紙型の難棚があ

第の「妖魔」・帝山變化層」其他一識記『女優奈々子の裁判』 其健菊也。非体の古實聯隊全滅の詳細記事を事件の古實聯隊全滅の詳細記事を事件の古實聯隊全滅の詳細記事を事件の古實聯隊全滅の詳細記事を

弘小平金小上 關本泰 (人枝 文樂 洋洋 商洋 堂店行行行行

No. 60 ¥ 60.00

發賣元 四十四十四 九九六二 七會

河野 想多 (218)

を覧えたが、しかし、あくまでもあけみはさすがに腕の顫へるの

大連放送局より

人で為めになるもの許可だ、附錄こへ山こへ『オヤー〈姉弟』等證法人の兒童劇「棚の達響さん』「應證夫の兒童劇「棚の達響さん』「應證上の端欄事件」海田、一個、樂部へ三月號)北村

中ツ能山高石 川<sup>ル</sup> 田久原 商商 洋商洋 店會堂行會行 春嶺嶺

高級瑞西ジ 月賦提 供 1 ラツ 一回金御拂と同時に現品先渡 シ ア蓄音器

險

目解まとい大勉強振り! 名人さー堂々たる三大附録を付けて、 一堂々たる三大附録を付けて 火災、海上、運送、自動車

契約高多少に不拘御の話次第係員参上御相談申上ます 三井物產縣太大連支店

書館に 左 す 本野 育、 を 井 全権

さるべき事の必要なる事家の場合においては家の場合においては

(日曜月)

團氏の 後任

事長の後低は常務理事有製象文、理事長輕寒孵氏の死に伴びその理事長輕寒孵氏の死に伴びその理

聯盟の權威尊重强調

表態度

兵の増加の境の

勞農機關紙論評

**蒼倉散會後 佐藤代表語る** 

上海から完全公平な報道が總會に達する迄一般討議を停止する

質上停止された20年 よれば戦闘行為は實

一部小競合を 脚行為は實質上停止 された事を確認してる る、友邦間の一時的戦闘行為も る、友邦間の一時的戦闘行為も は實質上停止 とはない有い。

を現て一覧保御 時五分(日本時 日本時

言明

聯盟總會

般委員會

**妥員會設置か** 

佐藤代表態度賞讃さる

政りつ取られつ(四)な那可水蔵子の支那部にの奥で

插高 伊藤 順三

史

210

かけて行き、墨の荷場所を探し

「ちやアその地画を見せていたゞ 支那路で融してゐるのであった。 さう武村は支那路で云った。

「結解の鄙がありますかな」

グット多らざるか得なかつた。武村は一記ら無かつた。

「いや、あれは……いや、あの時

これに願け云つた。

とようらことも日本ません」 「れ、総解の群は無いでせう。「地間は松が優つて置きます。お一様な向いた武村へ云つた。」 オイケリューナ

A 『やアお早ら、今度は驚いたら 事権員のBが記手しながら室か

特に関は冷やかに、沈默して

貴郎が小孩子さいふ女を、私にか

虚報を難詰

紛争の解決には當然

排日を看過

7

依然停頓

【上海五日数】支那側は今夕に至

豫備交渉は

事代も最後能解決に述づく事こな 事代も最後能解決に述づく事こな

遊延し得ず 

『ワシントン五日餐』四日の特別 「東京の伴に関し米政府も之に参加す あに決定し、米政府も之に参加す るに決定し、米政府も之に参加す を発表し、米政府は昨夜在上街 見せすることも出来ません」

上海事件解決近づく

米も参加

一人は無まづさうに向ひ合つて

いり這人つ

は私が貴郎にかまはず、地間を占

至る単個常数さして最も重要なる 大きの今にははにはないないには にはないないになっている ですつて!地圖を程に見せないん 継貨機の希極をあげてあたが、「ナ、何んですつて、見せないん この家は表館――世間態を覧



那兵衆は非然に慰認して启る 那人に無料診察を始めたが、之を 戦病院を南郷に移と附近の貧困支 戦病院を南郷に移と附近の貧困支 **真茹無電臺** 全~安全

敵の主

民衆感激

皇軍の施療に

「上海五日費」五日全総各方配共 製版なく平穏、各○既は速かに戦 場を探察し危職院長に突みついる り、亂新無常盛は完全に保存され てるるがオペレーター逃走し事能 てるるがオペレーター逃走し事能 有する事な經野に際止すべし。 有する事な經野に際止すべし。 を答其他 が表は全然打破すべし、各管其他

の根本的建画しは外論必要。 たは歌は歌歌をさた「その同志の その同志のこのなへ……」 ういふ仕事の同志です 智見財か手に入れやうさいふ、さ

あかは今後大いに注意な要する虚

東書の戦った歴史はしてあるが、健衆理 株では、東書の戦った歴史はしてあるまいと思られ、春と交後教報。 佐爺と変地の成行き監視の情報委覧を 大大

· 完備線1七流口、電響、

の支持や強調

我守備線

整理完

對策に関心

病院船として

「変切った? 程が? 喉を英遊

のA『さう言へば君も元気が良いな 、だが層が縮いだらう』

A『動け惜しみをいふなよ』

A 『今朝はすつかり参つてるだら これには驚きました。

「でいったんですかられ、果は無く、大概一時押への気体的であります。」

「でいったんですかられ、果は無く、大概一時押への気体のでありませられるから、期待する壁のが ろ先登になつて荷物を指っ 対か



を探り職へ研究した。

家へ、身を際してるたのであったなったので、吉五郎を連れてこの



師、七

二、各部隊の戦線危際除去したる を以て近く観電に供すべし 三、真動無電は完全に保存、通信 復活のためオペレターに支那人 運播数名な護衛ともて附も便宜 か乗ふ 四、牽北天津線の切斷例所は安那 士工二十名をして之が復奪に當

支那へ向ふ

れたる氏脈者かねつ

A 『君のかくいへない佳

かな朝の容気を指り船がすや A 『なんだ』が作りに配音がコト・コトーと響いて 時代にはよく使つたよ。観しい作うに配音がコト・コトーと響いて 時代にはよく使つたよ。観しい作うに配音がコトーコトーと響いて 時代にはよく使つたよ。観しい作うとが そのだ』

職選の地上海を追く背後に送しは何の異談も無いが、長方形のは ○ 気は脱乱に白波を噛んで潰る。 
市がコ三秋野つてあった。
 でうに進む。新に張ったローブは A 『こりや何だい?』
 でうに進む。新に張ったローブは A 『こりや何だい?』
 でが像を越え、危地を脱した離離の B が笑ひながらボケットから出し となは変れを安心にまだ眠りから た小庭には表に単地に白く、妙布 とないてあった。
 とからのなった。
 とからのなった。
 とからのなった。
 とからいてあった。
 とからいてあった。
 とがめぬ。
 とがいてあった。
 とからいてあった。
 とがらいてあった。

甲板で拾つた話 事務員Bの對話

府は五千萬ループルの内國保養行

露國內債發行

上海事变全、瀝

新聞後答學校長の式離あり地久節の歌合唱就聽を終りて午前十時節と、君ケ代合唱後期費、教育報語本歌、密答の歌合唱、御此歌を唱、御此歌を唱、御此歌を唱、御此歌を唱、御此歌を唱、御此歌を唱、御此歌を唱、御此歌を唱、御此歌を唱、歌告解女學校では六日地久節邦費

仕者総改者に購講行説詞な受けさせられたが本年は時局柄 臓で倒脱臓に就かせられ午後一時には柳原二位局を初め意

拳銃の出所

東京六月登 六日は泉后院下滿河二十九港の御継殿に臨る 御茶出版さ地久節である、この月泉后院下には午前十一時ローブモンタントの御挺ひで流井泉辰宮大米館康以下谷大郎、鑑べさせられ宮中欄の間に出荷紫敷の大総館棚以下谷大郎、鑑に宮内敷佐館、同儒遇過に夫人の興鵬郷賀を受けさせられ 遊に宮内敷佐館、同儒遇過に夫人の興鵬郷賀を受けさせられ 遊に宮内敷佐館、同儒遇過に夫人の興鵬郷賀を受けさせられ 遊に宮内敷佐館、同儒遇過に夫人の興鵬郷賀を受けさせられ

「マルリン五日登」外務省はモス

狙撃さ

腦脊髓膜の流行

患者すでに九名を出す

より

猖獗する

だしく上り列車の機関士が登

彈

いり頭部さ手に

れ四般の弾丸に

できた、犯人は直に

ながあった谷戸に脚をあるがあるがあるがある。

藤井商店

諾威首

相逝く

滿御二十九歳の

小沼、菱沼ら五名で

組織してゐた血盟隊

地久節御祝典

首相以下拜賀に参内

それば最してある、満洲郷は神脈 でがなごで長巻来曾有のお祭り 脈の転燈、臨時体業しての旗 がある。 地同様城内目状の場所五個所に電便でには準備も終る客、この千載一でには準備も終る客、この千載一 新國家首都長春は九日盛典の興行 張氏が捧ぐる 『黄金の國璽

は恐らく全浦で一番狂」の手に黄金の国題を揮撃し、執政 直に登表すると同時に執政就任の清明しやうさする首都 委員會委員長職散惠氏より海像氏 保险保守その他所既投守に挟印し「総を管、この千郷一一 越岡式中の執政戦任式は東北何政 」はこれを新国家の組織生及び人滅り、 執政宣誓式の模様 る『奉天電話』

リンデイ二世 誘拐事件

100 と 100 にあり此處から がなく既死したものである 関連 100 に 100 に

全~五里霧中

色めく警視廳

人物が居る

8

潜してあったの

た拾つたなご出路

上下兩列車に挟まれて

保線區員の殉職

小映書影をひそむ・好評御禮・・・・

3!

典田胡詰宮

通夜、

二百人

未亡人以下家族

販並に三井軍役以下 一五日通夜はよし子

帝都恐怖

政府の

財閥を狙つた所が不審

総試験後行戦施を決定、日本航空 背後に人

前の範型アーチも六日完成しアーの準備を辿めてゐるが日本側は軽 全部は夜の美観が添へるためイ 喜びの爆發に 湧き返へ 喜し品質してゐるとは事代である 押し寄せる 首都オン・パレー る長春 1.

に三四人宛 城内さも旅館は大郷底ん楽し一室

大連製では京城鎮路監練製手の配」い吉林整備第四歳と李換へた新らら 長春から京城へ 宿屋で逮捕 一千キロの満鮮新航空路

詐欺師

二萬圓の大

近く試験飛行を行ふ

等力とついめるので選くも四月二 ので微繁就は全力をあげて製工にので微繁就は全力をあれて製工は単様があって微繁がは全力をあげて製工に 鎭江の新橋梁

で満洲八駅の一部には渡り

のさ一般から脚

機能七百四十個を敵概もた價格一般地本久太郎氏は市役所を通じて いには警察側では重大な職権を からなく五里野中である、なほ 鐵兜七百四 派遣警官隊 十個を献納 が三名は空間より他は変ロより間で名は空間より他は変形が高いた。 大番地食料品店瀬田商店に何れも 金紫統所持せる六人組の支那人強変で に六日身橋が引波された、なほ犯に六日身橋が引波された。 ので取押への電 電流びとて楽作もので取押への電 電流 に六日身橋が引波された、なほ犯 た、同人は去る一月二十一日ごろ を常賞さし言語巧に同人な数さ之 をお賞さし言語巧に同人な数さ之 金剛町六七トキワホテルに関名技 一会側町六七トキワホテルに関名技 家人を縛り上げ 現金三千圓を强奪逃走 奉天松島町の六人組馬販 電は | 双坡線の北方に大馬賊自 | 三十九名な號 | 又市廣一名 | 大馬 | 双坡線の北方に大馬賊自 | 三十九名な號 | 又市廣一名 | 北後院 | 三十九名な | 双坡線の北方に大馬賊自

三を出し街道殿中であるさ

際も力も同地に開選さ

本 と 名の苦がけんけの年後八時五 か 機に 世 変 が けん は が か 機に す 立 ち まらん さ し れ か 機に す 立 ち まらん さ し れ か 機に す 立 ち まらん さ し れ の で あ な が 世 れ け の 年後 八時 五 か 機に す 立 ち まらん さ し れ の で あ な が 世 れ し の で あ な が 世 れ し の で あ な が 他 で あ な が 世 れ し の で あ な が 世 れ し の で あ な が む に 切 り つ け し か に か し た の で あ な が む に 切 り つ け し か に か し に か な が む に 切 り つ け し か に か し に の で あ な が む い で あ な が む に 切 り つ け し か に か し に か な に 切 り つ け し か と し た の で あ な が む い で あ な が む に 切 り つ け し か に か し に の で あ な が む い と し た の で あ な が む い と し に の で あ な が む い と に の で あ な が む い と に の で あ な が む い と に か と

氣の毒な女給

方委に救はる

〇〇隊長の指揮

か出録した

阿片窟

の主人

力に殺さる

人三田谷には絵駅海山の機様であ

語る

白壽山

匪

双城に出沒

市中には匪賊がない。自分では、一切その会

天野〇團主力

六日朝寗古塔へ進發

さいつてあるさ

(=)

では目下全力を駆け犯人閣探中 では目下全力を駆け犯人閣探中 では目下全力を駆け犯人閣探中

《公主篇》 郭家店北一條第一丁目

遼西

の討伐を完了して

一だ前が

萬圓である

年

七 和

部下の兵變は 申譯がな

京城一通過

電点 
「京城特體六日製」 
高家新國家の 
「京城特體六日製」 
「京城特別」 
「京城特體六日製」 
「京城特別」 
「京城村」 
「京城村」 
「京城特別」 
「京城村」 
「京城村」 
「京城村」 
「京城村」 
「京城村」 
「京城村」 
「京城村」 
「京城村」

俊のため一時滅

二郎第二徳長陸軍

\* 総邸李葆繁に向け出餐の縁節であり、出航戦備中で六日午前祭時三万餐

旅王殿忠軍は今郷

順機が働に移駐すの経済を天智線医軍第一の

○強)と本日同地を引続げ午後五 時態域附版地に強着目下夫れ了~

實古塔で 趙芷香と語る

歩兵少校李懐蔵の 名(泊點種〇門

撫 順附近の匪團

より

徹底的に討伐

大商同窓生懇親會

に戦がり出送する馬崎殿に大被 を機能の急を決し二日以来を議械 がり出送する馬崎殿に駐び師 がり出送する馬崎殿に駐び師 が大き二日以来を議械 下

四月二十一日に渡初め

南王富官屯に約五十騎等の唯 十騎、小梁ボ子に五騎、民官屯西

高官屯西南の孤城子には四日夜一

**唐**六學 学」 址

では焼力ある箸なく面も唇面は樂 では焼力ある箸なく面も唇面は樂 では焼力ある箸なく面も唇面は樂 では焼力ある箸なく面も唇面は樂 では焼力ある箸なく面も唇面は樂 無者さして聖愛病院に收容され の情折りに依つてこの四日から施 の情折りに依つてこの四日から施 らず疾患日に重く凝乱なる疾痛なよんだ、イトは貯金なく醫師も來 よんだ、イトは貯金なく醫師も來 で 一个かすこの優放住する時は生命 ので方面委員山心 であるので方面である。 ゆ後中します 出南江平等面中寺一品 十五錢的一五人樣以上 在野野帝國報前

清月 七代七四〇七七句

百聞は一見に如かず乞御來談か(仲介謝絕)

河口京町七二

九二五六

當方獨占的確實なる事業擴張のため

御考へに成られて居らるゝ眞面目なる御方の御出資を仰ぎた五六千圓程度の遊資を御持ちに成つて何か確實なる事業をと

強御が活カフェー女給後藤

東洋映畫職講習會

頭痛ニノーシン

別に暴力行為に出です一准して五別に暴力行為に出です一准して五 世へ收入多大-就職口は無限! 一記明者である。 一記明者を 一記明日は 一記明明日は 一記明明明明明日は 一記明明日は 一記明明日は 一記明明明明日は 一記明明日は 一記明明日は 一記明明日は 一記明明日は 一記

北西の風・晴一時景

天氣豫就

御註文次係早速お届け致します 磐 城 町 五 一 進級學生帽子特價提供

いりと新荷美

心題 間 X

ます

込み合ひます 中話の 映書館

員 し御

これぞ偽りなき名畵の眞價 二初日日

値上せず卅錢

松森松井文人保滿

商申

アララ・ボウが私達に甘くば、クララ・ボウが私達に甘くば、クララ・ボウ B 彼女は関係さしての任務を奉つた。だが女は々ロボットではない。 両奴と罵られ。 裏切者と考 責められても。 資赤な際に生き度いのだ! 封スタンパークは通り一遍のロマンス作者では 切けたいのだ。 tevot:

の物本がれこ 養職は 一丁勇三弾內烈忠 り の機器 一丁勇三弾內烈忠 り 大前にうせまじ数な研察な無熱に土勇三は等後! 化軸峡の切 来する。 文 呪 懋 狂 の子昇間凌さ光寺頂吉

士勇三彈內烈忠 5

東國ターナーアスベスト會社製
中国・ルジョインチング低酸、高腱用
ススーパーヒートパツキング
ロモトパツキング
コ結板、石綿糸類
石綿板、石綿糸類 

商 兀 大 連 榮 町 體3887●5798番

あ 粧品 6

電話六六〇六番 小寺藥

連 鐵街銀座 町二

清蒙新國家建設 新 蒙 洋 行 新 製 製 を あ 品記 念し

本為與帖はこれを廣く牧業して特に時局の記念に、或は研究材料に供すべく、オフセット刷り四六倍九十六頁に收めたる内容豊富なものでるけど絶大なる好評を受けてゐる。
本為與帖はこれを廣く牧業して特に時局の記念に、或は研究材料に供すべく、オフセット刷り四六倍九十六頁に收めたる内容豊富なものでるけど絶大なる好評を受けてゐる。
本為與帖はこれを廣く牧業して特に時局の記念に、或は研究材料に供すべく、オフセット刷り四六倍九十六頁に收めたる内容豊富なものでるけど絶大なる好評を受けてゐる。

石界。関祖 声浩大理 石 場 電話九九三 0 掛 一 大連市 5 場 地 2 雲 半 町 五

寫

設する話があったが



**物新棋戰**[共]

油醤ノマーフッキ

で 六五五百事

電話って

~立確の則原理料 望待の等我

**肉彈三勇士** 

强

版 寶 店 十 大連市樂儀

黑冒然

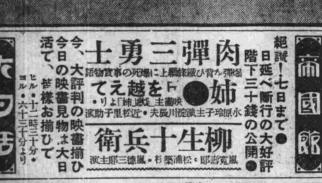
屋樂店

0

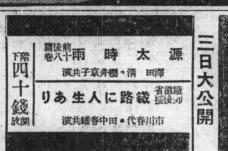
13+-



本少女歌



社會式株油醬田野



X 27

今春流行の 春頃に麗 0 澤山入荷致しました か 感な 11

間諜

映工館七

中央映画館

か

帝國館雨

\$8 1 PU

字

藤馬は強い

商分合

名な倉家秘樂

大連市西通(常盤高面広指中間) ・雷部介も五二番・

百般

庭 向 

はなる。

努めて來たのである。 書相に、ポスターに、或はど 割日態度に潜む癌、排日運 がは異に其の がは異に其の

みコタののバ 中途宇端は いやなこと 中途宇端は いやなこと 画版スエ



囁振

**鄭煙** 化粧品

キング材料 定

但馬町西廣場上 局

ビ運の求う動目む には的る その他總ゆる手段と方法を以て侮日にかの逆することは出來ない。これまでのとところ、然れぞ絶えず惹る排日の裏面 ールの嫌厭は各郷論発が配から鑑賞に大くに鑑賞を以て

これが完全に些の危險なく、直接展所に作用して減酷を死滅せるかる法入棄である監は、内服難の時代を生って注入藥の時代にもかる法入藥である監は、内服難の時代を生って注入藥の時代にもれていた。 選に合法確認者をして、職便で安全に一般に使用を取るという。 というは入藥の時代に

猛烈な淋菌を根本から死滅せしむる

ブラオン銀の驚異的發見

淋病は内服薬で治ら

0)

型及

MAG

清荫

# 前東京吉原游 先生の努力

### 國醫 科 大 旭 憲吉博 士 0 發

振護 膜炎、又は副 睾丸炎或は 関節炎の併發を起し、或は罪なき婦女子に感染し、家庭の悲惨事を惹起せしむる等取り返しのつかぬ結果とな る内服賣藥に頼り、 總て淋 今まで淋病薬で、 實に氣の毒に堪へぬ次第であります。之れ一つは從來淋病治療に對する信頼すべき特效薬がなかつた無陥にもとづくものであります。 病に感染して、 發見と稱するものは多數ありますが真に學術的に見て醫學上の新發見なる言葉を許し得る治淋劑は殆どありませんでした。 疼傷排瘍等が止まれば、全快と誤認し、その儘放任してゐる內に再發又再發を繰返して、腑では淋病は不治なりと諦めて、一定の期間を經過すると自覺症狀が少なくなり、爲めに雜務に追はれ根治する事の出來ない姑息的な手段を選ぶや 全快と誤認し、その儘放任してゐる內に再發又再發を繰返して、鯨ては淋病は不治なりと諦め なる人が餘りにも多いの機會に 1 うになり、遂に多數あ

、 九州帝國大學醫學部の地博士が、農衆に数表せられた所説中に 「秘域は内職藥のみによつて全治するものに残す、寒酷なる観響 れて居りますが、これ裏に學衆逆來の動かすべからざる、定説されて居りますが、これ裏に學衆逆來の動かすべからざる、定説されて居りますが、これ裏に學衆逆來の動かすべからざる、定説されて居りますが、 もなつて居ります。假注外類等も、多數發觀されて居りますが、 をもつてたります。假注外類等も、多數發觀されて居りますが、 ともても観響の經點確なるに除する販館であります。

第所養質のプラオン餓ケンゴールは、敷年の間佐藤生性及臨秧酔れは經濟になく、促つて混争に治療も得るのであります、簡繁就化は經濟になく、促つて湿疹性養症な薬物を得るのであります、簡繁就ものであるから、洗疹薬等の好くっ酸を共に、凝菌が後部に送入しのであるから、洗疹薬等の好くっ酸を共に、凝菌が後部に送入

低を場て焼金な 総跡によって、多

つらん事な様に伸注意聴上る次常であります。 学野の患者に覚験の上効果、融作用等の話に、光分を野の患者に覚験の上効果、融作用等の話に、光分

研ラオン室部銀 数患者離散よ の動物に かっています が 41.6 では 15.6 で

豫想以上の成績

置前土山

田書

险

0

權

威

がに慰者離戦の再考を配し常院な批戦ただぶものである。 至誠な披露し鴨く裏門臀家の試職を仰ぎたく師同病者に呼びかけ で堪へす、同病總濃の慌念さ能信を以て本派法に頼られんこさを が山種し、節軟米各國よりは開音せや消炎が器強する荷袋で威胁

絶對安全な局所療法 り良くしか。 を整理に基準変なが、 を変したが、 を変したが、 のあり、然るには、 を変したが、 のかり、然るには、 を変したが、 のかり、然るには、 を変したが、 のが、 が治れ、 でして、 を変したが、 のが、 でして、 を変したが、 のが、 でして、 を変したが、 のが、 でして、 をでして、 をでいて、 をでして、 をでいて、 をでい、 をでいて、 をでいて、 をでい、 をでい、 をでいて、 をでい、 をでい、 をでい、 をでい、 をでい、 をでいて、 をでい、 をでい、 をでいて

はさらて極々あるが音々臨床をが 関さらて極々あるが音々臨床をが がある。

効 監督士北 力 0 適 井 幾

職を信つて見た、供 とて、「数百種にしても を信つて見た、供 を はい、その治療になった。供:

東京吉原をはていての極悪がいての極悪がいての極悪がいての極悪がいての極悪がいてのが、ならが、ならが、ならが、ならが、ならがなかった。 一般による 一般になる 一般に 

である事が候性である事が候性である事が候性である事がにとてもいり上の数されるアロタルゴー 

包

◆拭ふが如く

する大節です。
ないのコシケ省場等に効目は気に強大ですから是非お繁化は勿論婦人のコシケ省場等に効目は気に強大ですから是非お繁化を数先生が發見の「ケンゴール」は男女何れにも使用簡似で急性神性 すから頻賣 九へ御申込下さい 者い為めになる本・無代で進呈しま 權威ある専問 経家の 『淋漓と治療』とい 个電話高輪八三三四—八三三五<sup>)</sup> 東京市芝屬三田通新町十三番地 白東

臨床醫家は 斯くの 如く證明す

中心上

**边藤英三郎** 

●難症が廿日で全治

宮城縣白石町

◆同病者の友にも

議各方面、激賞に次ぐに激費を以て迎へられつゝある點より見るも本剤が如何に治 淋界にら治す。ブラオン銀。ケンゴールの發見と、て發表せられ、其他實業之日本七月一日發行、東京時事新報が上に以病に卓効ある。ブラオン銀。ケンゴールの發見と、て發表せられ、其他實業之日本七月一日發行、東京時事新報のる。ブラオン銀。登見さるとして掲載せられ次に同年十二月二十三日發行、東京時事新報のる。ブラオン銀。分ンゴールの發見と、て發表せられ、其他實業之日本七月一日發行、東京時事新報が一貫の一方の一方。 「一方」と、「一直」に見る記事を以て淋病を根本から治す。ブラオン銀の一般に自効で発表。「カーカー」に対して、一方の一方。 「一方」と、「一方」に対して、「一方」と、「一方」」と、「一方」と、「一方」と、「一方」と、「一方」と、「一方」と、「一方」と、「一方」と、「一方」と、「一方」と、「一方」と、「一方」と、「一方」と、「一方」」と、「一方」」と、「一方」」と、「一方」と、「一方」と、「一方」」と

に五頁に亘る記事で淋病を完全に治す『ブラオン銀』ケンゴールの發見させて發表せられば用號で淋疾治療に偉大なる效果ある。ブラオン銀』發見として發表せられ、昭和六年健康の友(祖一四頁)見として被賞に次ぐに激賞を以て發表せられ、昭和六年經濟往來(祖一四頁四頁)に亘る記事を以見として被賞に次ぐに激賞を以て發表せられ、昭和六年經濟往來(祖一四頁四頁)に亘る記事を以

せられば和京年通俗醫學(铂比於與四頁)の記事で淋菌を根本から死滅せしめる。ブラオン銀』の發理部推贬として五旦に亘って淋疾を根本から治。『ブラオン銀』ケンゴールの發見として發表す効ある。ブラオン銀』ケンゴールの發見として發表せら、世界媒婦人公論及び中央公論に代草効ある。ブラオン銀』ケンゴールの發見として發表せら、世界媒婦人公論及び中央公論に代

激員を重ねられし記事を發表せられが用版文藝春秋及不一日 讀物號 (祖三共八頭)の記事で淋疾に

ノラオン銀』の發見として激質に

西川號主婦之友(四頁)に於て洪病治療に强大なる效果。

療法として發表せら、尚紹和法典現代及で雄辯等に代理で、ことして五頁に亘つて發表せられの發見として發表せられ昭和法辨講談俱樂部及び富士等で記事にプラオン銀』ケンゴールの合理本劑一度發見せらるこれ昭和法典婦人俱樂部、趙八八頃四頁)の記事で効し絶大なる『ブラオン銀』

が如き詐欺的作り写でなくー字一句が原文の儘であります。一々掲載出來ませんが左に掲ぐる書訳は名前以外は巷間にある日々机上に山積の有樣であります。紙面に限りがありますので發表後間もないのですが、全快の感激に滿ちた禮狀や感謝狀が